

---

令和7年度版『現代の国語』

# 年間学習指導計画作成資料

令和7年3月

三省堂

## はじめに

この資料は、令和7年度版『現代の国語』をご使用いただくにあたり、年間学習指導計画を作成される際の参考資料として作成いたしました。教材ごとの配当時数、主な学習活動、評価規準などをご提案するものです。学習指導要領の目標や内容、その考え方をふまえ、地域や学校の状況に応じて本資料をご活用くださいますようお願い申し上げます。

### 配当時数

学習指導要領に示された時数に基づき、年間の総授業時数は、1年・2年140時間（週4時間）、3年105時間（週3時間）としました。各領域・事項の配当授業時数は、編成上の目安として、次のように想定し、教科書の本編教材において配当しました。なお、「資料編」については、学習指導の中で適宜ご活用いただくことを想定し、個別での時数配当を行っておりません。

	1年(140)	2年(140)	3年(105)
話す・聞く	16 (15～25)	16 (15～25)	14 (10～20)
書く	30 (30～40)	30 (30～40)	20 (20～30)
読む	51	53	45
言葉の特徴や使い方／言語文化	23	21	16
小計	120	120	95
書写	20	20	10
総授業時数	140	140	105

※（ ）内の数字は、学習指導要領に示された時数です。

### 学習目標

「学習目標」の欄には、教科書の各教材冒頭部に示した「目標」を示しつつ、対応する学習指導要領の指導事項の記号（略号）を示しました。特に重点を置く目標には◎を付し、太字で表示しました。また、「言葉発見」「漢字のしくみ」「文法の窓」「漢字を身につけよう」「私の読書体験」といった小教材には、教科書教材の冒頭部に「目標」を明示していないものも含まれておりますが、当該教材の学習内容、育成を目指す資質・能力に基づき、他教材と同様に「学習目標」を示しています。

### 主な学習活動

「主な学習活動」の欄には、学習の「見通し」～「振り返り」までの主な学習活動を、想定する授業時数に即して示しました。

## 評価規準

平成 29 年改訂の学習指導要領では、全ての教科等の目標・内容が、「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」という、育成を目指す資質・能力の三つの柱として整理されました。各教科の学習評価においても、学習指導要領に定める目標に準拠した評価として行われ、次の 3 観点による評価を行うこととなります。

- ① 「知識・技能」
- ② 「思考・判断・表現」
- ③ 「主体的に学習に取り組む態度」

「知識・技能」及び「思考・判断・表現」の評価規準については、下記のように、学習指導要領の指導事項の文言をそのまま用い、文末を「～している。」として示しています。ただし、育成したい資質・能力に照らして、指導事項の一部を用いて評価規準を作成していることもあります。

- ① 「知識・技能」の評価：社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使っているかどうかに関する評価。各教材で育成を目指す資質・能力に該当する「知識及び技能」の指導事項の文末を「～している。」として示す。
- ② 「思考・判断・表現」の評価：「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしているかどうかに関する評価。各教材で育成を目指す資質・能力に該当する「思考力、判断力、表現力等」の指導事項の冒頭に、領域を明示（「(領域名)において、」と明記）し、文末を「～している。」として示す。
- ③ 「主体的に学習に取り組む態度」の評価：言葉を通じて積極的に人と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉がもつ価値を認識しようとしているとともに、言語感覚を豊かにし、言葉を適切に使おうとしているかどうかに関する評価。文末を「～しようとしている。」として示す。

「主体的に学習に取り組む態度」の評価では、次の二つの側面について評価することが求められています。

- ① 知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身につけたりすることに向けた粘り強い取り組みを行おうとする側面
- ② ①の粘り強い取り組みを行う中で、自らの学習を調整しようとする側面

評価規準を作成する際には、下記 ① から ④ の内容を全て含め、教材の目標や学習内容等に応じて、その組み合わせを工夫することになります。

- ① 粘り強さ【積極的に、進んで、粘り強く等】
- ② 自らの学習の調整【学習の見通しをもって、学習課題にそって、今までの学習を生かして等】
- ③ 他の 2 観点において重点とする内容（特に、粘り強さを発揮してほしい内容）
- ④ 当該教材の具体的な言語活動（自らの学習の調整が必要となる具体的な言語活動）

※【 】内の言葉は、当該内容の学習状況を例示したもので、これ以外も想定される。

本資料においては、それぞれの観点についての B 規準（おおむね満足できる状況）の例を示しています。特に重点を置く評価規準は太字で表示し、波線の下線を付しました。

学習評価についての詳細は、『「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料』（国立教育政策研究所・令和 2 年 3 月）をご参照ください。

## 学習指導要領の指導事項と本資料での略号

思考力、判断力、表現力等	略号	1年	2年	3年	知識および技能	略号	1年	2年	3年	
話すこと・聞くこと	Aア	話題の設定(話すこと、聞くこと、話し合うこと)、情報の収集(話すこと、聞くこと、話し合うこと)、内容の検討(話すこと、話し合うこと)			言葉の特徴や使い方に 関する事項	知・技(1)ア	話し言葉と書き言葉	言葉の働き	漢字	
	Aイ	構成の検討(話すこと)、考えの形成(話すこと)				知・技(1)イ	漢字	話し言葉と書き言葉	語彙	
	Aウ	表現(話すこと)、共有(話すこと)				知・技(1)ウ	語彙	漢字	文や文章	
	Aエ	構造と内容の把握(聞くこと)、精査・解釈(聞くこと)、考えの形成(聞くこと)、共有(聞くこと)				知・技(1)エ	文や文章	語彙	言葉遣い	
	Aオ	話し合いの進め方の検討(話し合うこと)、考えの形成(話し合うこと)、共有(話し合うこと)				知・技(1)オ	表現の技法	文や文章	—	
書くこと	Bア	題材の設定、情報の収集、内容の検討			情報の扱い方に 関する事項	知・技(1)カ	—	言葉遣い	—	
	Bイ	構成の検討				知・技(2)ア	情報と情報との関係			
	Bウ	考えの形成、記述				知・技(2)イ	情報の整理			
	Bエ	推敲								
	Bオ	共有								
読むこと	Cア	構造と内容の把握	構造と内容の把握	構造と内容の把握	我が国の言語文化に 関する事項	知・技(3)ア	伝統的な言語文化			
	Cイ		精査・解釈	精査・解釈		知・技(3)イ				
	Cウ	精査・解釈				精査・解釈	知・技(3)ウ	言葉の由来や変化	書写	言葉の由来や変化
	Cエ					考えの形成共有	知・技(3)エ	書写	読書	書写
	Cオ	考えの形成共有	考えの形成共有	—		知・技(3)オ	読書	—	読書	

## 評価規準の観点と本資料での略号

知・技 : 知識・技能

思・判・表 : 思考・判断・表現

主 : 主体的に学習に取り組む態度

令和7年度版『現代の国語』年間学習指導計画例

1年

月	単元名	教材名【領域】 ●学習目標	時	主な学習活動	評価規準	学習指導要領 の言語活動例
4	1 豊かに想像する	朝のリラ 【読む(詩)】 2時間 ◎詩を読んで感じたり想像したりしたことを共有する。(Cオ) ○情景を想像しながら音読し、詩の構成や表現の効果について考える。(Cエ)	1	◆目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 情景を想像しながら音読し、詩の構成や表現の効果について考える。 ・本文中の地名の位置を確認し、地球を思い浮かべながら音読する。 ・朝と夜を表す表現に着目し、表現の巧みさについて考える。 →思考の方法【順序立てる】	知・技 ・事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1ウ)	小説や随筆などを読み、考えたことを伝え合う。(Cイ)
		2	2 詩を読んで感じたり想像したりしたことを共有する。 ・「朝をリラする」とはどうか、考えたことを書く。 ・書いたことをもとに、考えを共有する。 ◆目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	思・判・表 ①「読むこと」において、 <u>文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにして</u> いる。(Cオ) ②「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えている。(Cエ)		
		竜 【読む(物語)】 4時間 ◎描写をもとに三太郎の心情の変化を捉える。(Cイ) ○擬態語などの表現の工夫に着目して読み、表現の効果について考える。(Cエ)	1	◆目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 本文を通読し、場面ごとの内容を捉える。 →■二次元コード■ ・本文を通読し、場面の区切りを確認する。 ・場面ごとのできごとをまとめ、タイトルをつける。	知・技 ・比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方について理解を深め、それらを使っている。(2イ)	小説や随筆などを読み、考えたことなどを伝え合う。(Cイ)
2	2 描写をもとに三太郎の心情の変化を捉える。 ・「気の弱い微笑」と「気の弱そうな苦笑い」を比較する。 ・二つの表現に表れた三太郎の変化を捉える。 →思考の方法【比較する】	思・判・表 ①「読むこと」において、 <u>場面の展開や登場人物の心情の変化などについて、描写をもとに捉</u> えている。(Cイ) ②「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えている。(Cエ)				
3	3 擬態語などの表現の工夫に着目して読み、表現の効果について考える。 ・擬声語・擬態語を探し、表現の効果について考える。	主 ・進んで自分の考えを確かなものにし、学習課題にそって考えを伝え合おうとしている。				
4	4 物語における表現の効果について考えを深める。 ・おもしろいと思ったできごとや表現を探す。 ・おもしろさの理由を考えて、紹介し合う。 ◆目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。 →■二次元コード■ デジタル漢字ドリル					

月	単元名	教材名【領域】 ●学習目標	時	主な学習活動	評価規準	学習指導要領 の言語活動例
5		<b>グループディスカッション</b> <b>話題や展開にそって話し合いをつなげる</b> <b>【話す・聞く】</b> 4時間 ◎話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結びつけて考えをまとめる。(Aオ) ○必要に応じて記録したり質問したりしながら話の内容を捉え、共通点や相違点などをふまえて、自分の考えをまとめる。(Aエ)	1	◆目標と学習の流れを確認し、学習の見通しをもつ。 1 話題や展開にそって話し合いをつなげるための方法を理解する。 ・話し合い記録から、「話し合いのこつ」を見つける。 ・「話し合いのこつ」のはたらきや効果について考える。 →■二次元コード■	<b>知・技</b> ・比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方について理解を深め、それらを使っている。(2)イ <b>思・判・表</b> <b>①「話すこと・聞くこと」において、話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結びつけて考えをまとめている。(Aオ)</b> <b>②「話すこと・聞くこと」において、必要に応じて記録したり質問したりしながら話の内容を捉え、共通点や相違点などをふまえて、自分の考えをまとめている。(Aエ)</b> <b>主</b> ・積極的に話題や展開を捉え、学習の見通しをもって話し合おうとしている。	互いの考えを伝えるなどして、少人数で話し合う。(Aイ)
		<b>言葉発見 1</b> <b>音声のしぐみとはたらき</b> 1時間 ◎音声のはたらきやしぐみについて、理解を深める。(知・技(1)ア)	1	◆目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 日本語の音節について理解する。 2 五十音図のしぐみについて理解を深める。 →資料編「五十音図とローマ字」 3 イントネーション・プロミネンスについて理解する。 4 「確かめよう」の課題に取り組む。 ◆目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。 →■二次元コード■ 参考資料	<b>知・技</b> ・音声のはたらきやしぐみについて、理解を深めている。(1)ア) <b>主</b> ・進んで音声のはたらきやしぐみについて理解を深め、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	-
		<b>漢字を身につけよう①</b> 1時間 ◎常用漢字の読み・書きについて理解を深める。(知・技(1)イ)	1	1 中学校で学習する漢字を読む。 2 中学校で新しく学習する読みを学ぶ。 →■二次元コード■	<b>知・技</b> <b>①学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち 300 字程度から 400 字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表の漢字のうち 900 字程度の漢字を書き、文や文章の中で使っている。(1)イ)</b> <b>②事象や行為、心情を表す語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)ウ)</b> <b>主</b> ・進んで常用漢字について理解を深め、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	-

月	単元名	教材名【領域】 ●学習目標	時	主な学習活動	評価規準	学習指導要領 の言語活動例
6	2 わかりやすく伝える	読み方を学ぼう① 説明文の基本構造 ペンギンの防寒着 【読む(説明)】 1時間 ◎説明文の基本構造を理解する。(Cエ)	1	◆目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 説明文の基本構造を理解する。 ・本文を通読し、全体の構成を捉える。 ・「本論」に書かれたペンギンの保温のしくみを読み取る。 ・「序論」「本論」「結論」の役割を捉える。 ◆目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。 →■二次元コード■	(※「クジラの飲み水」と合わせて評価する。)	-
		クジラの飲み水 【読む(説明)】 4時間 ◎文章の構成や展開など、読み手にわかりやすく伝えるための筆者の工夫を捉える。(Cエ) ○段落と段落の関係に注意しながら、文章の内容を読み取る。(Cア)	1-2 3 4	◆目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 文章全体の構成と要旨を捉える。 ・本文を通読し、全体の構成を捉える。 →読み方を学ぼう① 説明文の基本構造 ・筆者が立てた「問い」に対する「仮説」を見つめる。 ・筆者が立てた「問い」に対する「答え」について、100字程度の文章にまとめる。 2 表現の工夫を探して、その効果を捉える。 ・「仮説」が果たす効果について考える。 →思考の方法[理由づける] 3 二つの文章を読み比べて、考えたことを発表する。 ・「クジラの飲み水」と「ペンギンの防寒着」を読み比べる。 ・読み比べて考えたことを発表し合う。 ◆目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。 →■二次元コード■ デジタル漢字ドリル	知・技 ・比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方について理解を深め、それらを使っている。(2)イ 思・判・表 ①「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えている。(Cエ) ②「読むこと」において、文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見との関係などについて叙述をもとに捉え、要旨を把握している。(Cア) 主 ・進んで文章の構成や表現の効果を捉え、学習課題にそって考えを報告しようとしている。	説明の文章を読み、理解したことや考えたことを報告する。(Cア)
		漢字のしくみ 1 活字と手書き文字・画数・筆順 1時間 ◎活字と手書き文字・画数・筆順について理解を深める。(知・技(1)イ)	1	◆目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 漢字の字体、書体の違いを理解する。 2 漢字の画数・筆順について理解する。 3 「確かめよう」の課題に取り組む。 ◆目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。 →■二次元コード■ デジタル漢字ドリル	知・技 ①学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち300字程度から400字程度までの漢字を読んでいる。((1)イ) ②事象や行為、心情を表す語句の量を増している。(1)ウ 主 ・進んで常用漢字について理解を深め、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	-

月	単元名	教材名【領域】 ●学習目標	時	主な学習活動	評価規準	学習指導要領 の言語活動例
		<p>レポート 調べたことを整理して わかりやすくまとめる 【書く】 5時間</p> <p>◎調べて集めた情報を整理して、伝えたい内容を明確にする。(Bア)</p> <p>○レポートの構成を理解し、表・グラフ・イラストなどを効果的に用いて書く。(Bイ)</p>	1	<p>◆目標と学習の流れを確認し、学習の見通しをもつ。</p> <p>1 身のまわりのものやできごとから課題を決める。</p> <p>・身近なものや身のまわりのできごとから「問い」を立てる。</p> <p>・「問い」を手がかりにして、レポートの課題を決める。</p> <p>・予想を立てる。</p>	<p>知・技</p> <p>・比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方、引用の仕方や出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。((2)イ)</p> <p>思・判・表</p> <p>①「書くこと」において、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。(Bア)</p> <p>②「書くこと」において、書く内容の中心が明確になるように、段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考えている。(Bイ)</p> <p>主</p> <p>・粘り強く集めた材料を整理し、学習の見通しをもってレポートを書こうとしている。</p>	<p>本や資料から文章や図表などを引用して説明したり記録するなど、事実やそれをもとに考えたことを書く。(Bア)</p>
		<p>漢字を身につけよう② 1時間</p> <p>◎常用漢字の読み・書きについて理解を深める。(知・技(1)イ)</p>	1	<p>1 中学校で学習する漢字を読む。</p> <p>2 中学校で新しく学習する読みを学ぶ。</p> <p>→■二次元コード■</p>	<p>知・技</p> <p>①学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち 300 字程度から 400 字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表の漢字のうち 900 字程度の漢字を書き、文や文章の中で使っている。((1)イ)</p> <p>②事象や行為、心情を表す語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)ウ)</p> <p>主</p> <p>・進んで常用漢字について理解を深め、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。</p>	-

月	単元名	教材名【領域】 ●学習目標	時	主な学習活動	評価規準	学習指導要領 の言語活動例
7	3 ものの見方・感性を養う	空中ブランコ乗りのキキ 【読む(物語)】  読み方を学ぼう② 人物相関図 4時間  ◎描写をもとに、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などを捉える。(Cイ) ○登場人物の判断や行動について、自分の考えを確かなものにする。(Cオ)	1 2 3 4	◆目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 登場人物の相互関係を捉える。 ・本文を通読し、全体の内容を捉える。 ・物語の登場人物を整理する。 →読み方を学ぼう② 人物相関図 ■二次元コード■ 2 描写をもとに、場面の展開や心情の変化を捉える。 ・キキの気持ちを場面ごとに捉える。 ・なぜ四回宙返りに挑んだのか考える。 →思考の方法【仮定する】 3 登場人物の言動と相互関係について考える。 ・キキに最も影響を与えた人物は誰か考える。 ・理由をあげながら、考えたこと、想像したことを話し合う。 4 登場人物の判断や行動について、自分の考えを確かなものにする。 ・キキの行動や考えについて自分の考えを文章にまとめる。 ・文章をもとに話し合い、考えを共有する。 ◆目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。 →■二次元コード■ デジタル漢字ドリル	知・技 ・比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方について理解を深め、それらを使っている。(2)イ 思・判・表 ①「読むこと」において、 <u>場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写をもとに捉えている。</u> (Cイ) ②「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものになっている。(Cオ) 主 ・進んで登場人物の相互関係について描写をもとに捉え、学習課題にそって考えを伝え合おうとしている。	小説や随筆などを読み、考えたことなどを伝え合う。(Cイ)
		文法の窓 1 言葉の単位・文節の関係 3時間  ◎言葉の単位・文節の関係について理解する。(知・技(1)エ)	1-3	◆目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 「文法の窓 1」で言葉の単位・文節の関係について考える。 2 「文法のまとめ」1「言葉の単位」で、言葉のまとまりについて理解する。 3 「文法のまとめ」2「文節の関係・連文節・文の成分」で、文の基本的なしくみについて理解する。 4 「確認しよう 1」の課題に取り組む。 →■二次元コード■ ◆目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	知・技 ・ <u>単語の類別について理解している。</u> ((1)エ) 主 ・進んで単語の類別について理解し、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	-

月	単元名	教材名【領域】 ●学習目標	時	主な学習活動	評価規準	学習指導要領 の言語活動例
		<b>字のない葉書</b> <b>【読む(随筆)】</b>  <b>読み方を学ぼう③</b> <b>行動描写</b>  3時間  ◎場面と行動描写などを結びつけて、内容を読み深める。(Cウ) ○描写をもとに、人物像や人物の心情の変化を捉える。(Cイ)	1	◆目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 作品を読んで場面ごとの内容を捉える。 ・本文を通読し、全体の内容を捉える。 ・手紙・葉書にまつわる思い出について、それぞれの内容をまとめる。	<b>知・技</b> ・比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方について理解を深め、それらを使っている。(2)イ	随筆を読み、考えたことなどを記録する。(Cイ)
			2	2 行動描写から登場人物の人物像や心情の変化を捉える。 ・後半部分について、父の行動の描写を捉える。 ・父の行動から、心情の変化を読み取る。 → <b>読み方を学ぼう③</b> 行動描写 ■二次元コード■	<b>思・判・表</b> ①「読むこと」において、 <u>場面と場面、場面と描写などを結びつけて内容を解釈している。(Cウ)</u> ②「読むこと」において、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写をもとに捉えている。(Cイ)	
			3	3 「私」の父に対する思いについて考える。 ・今の「私」の父に対する思いについて、昔と比べながら考える。 → <b>思考の方法[比較する]</b> ◆目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。 → ■二次元コード■ デジタル漢字ドリル  〈学びを広げる〉 → 書く「随筆」へ ・日常生活でのさまざまな体験を振り返って随筆を書く。	<b>主</b> ・進んで場面と描写などを結びつけて内容を解釈し、学習課題にそって考えを記録しようとしている。	
		<b>随筆</b> <b>体験に向き合い意味づける</b> <b>【書く】</b>  5時間  ◎日常生活の体験の中から題材を決め、表現したいことの中心を明確にしてまとめる。(Bア) ○交流を通して、表現のよい点や改善点を見つける。(Bオ)	1	◆目標と学習の流れを確認し、学習の見通しをもつ。 1 日常生活の体験の中から題材を決める。 ・これまで書いた文章や日記を読み返すなどして、体験を振り返る。 → <b>思考の方法[関連づける]</b> ・書く題材を決め、体験を通して生じた思いや考えを書き出す。	<b>知・技</b> ・比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方について理解を深め、それらを使っている。(2)イ	随筆を書くなど、感じたことや考えたことを書く。(Bウ)
			2-4	2 表現したいことの中心を明確にしてまとめる。 ・表現したいことを明確にして、全体の構成を考える。 ・体験したことを詳しく具体的に書く。 ・印象に残るように工夫して自分の思いを書く。 → ■二次元コード■	<b>思・判・表</b> ①「書くこと」において、 <u>目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。(Bア)</u> ②「書くこと」において、根拠の明確さなどについて、読み手からの助言などをふまえて、自分の文章のよい点や改善点を見いだしている。(Bオ)	
			5	3 交流を通して、表現のよい点や改善点を見つける。 ・書いた随筆を読み合う。 ・構成や描写の工夫などについて、感想や意見を交流する。 ◆目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	<b>主</b> ・粘り強く伝えたいことを明確にし、学習の見通しをもって随筆を書こうとしている。	

月	単元名	教材名【領域】 ●学習目標	時	主な学習活動	評価規準	学習指導要領 の言語活動例
		漢字のしくみ 2 成り立ちと部首 1 時間 ◎漢字の成り立ちと部首について理解を深める。(知・技(1)イ)	1	◆目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 漢字の成り立ちについて理解する。 2 漢字の部首と意味の関係について理解する。 3 「確かめよう」の課題に取り組む。 ◆目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。 →■二次元コード■ デジタル漢字ドリル	知・技 ①学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち 300 字程度から 400 字程度を読んでいる。((1)イ) ②事象や行為、心情を表す語句の量を増している。(1)ウ) 主 ・進んで常用漢字について理解を深め、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	-
		私の読書体験 本を読むことのおもしろさ 2 時間 ◎読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解し、読書を通して自分の考えを確かなものにする。(知・技(3)オ、Cオ)	1-2	◆目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 教材文を読み、感想を交流する。 ・本文を通読して、内容を捉える。 ・感じたことや考えたことを交流する。 2 本を選んで読み、自分の考えを広げたり深めたりする。 ・学校図書館などで、本を選んで読む。 →資料編 読書の広場「小さな図書館」 →■二次元コード■ ・互いに本を紹介したり感想を伝え合ったりする。 ◆目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。 →■二次元コード■ 解説動画	知・技 ・読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解している。((3)オ) 思・判・表 ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものになっている。(Cオ) 主 ・進んで自分の考えを確かなものにし、学習したことを生かして学校図書館などを利用し、多様な情報を得ようとしている。	学校図書館などを利用し、多様な情報を得て、考えたことなどを報告したり資料にまとめたりする。(Cウ)
		漢字を身につけよう③ 1 時間 ◎常用漢字の読み・書きについて理解を深める。(知・技(1)イ)	1	1 中学校で学習する漢字を読む。 2 中学校で新しく学習する読みを学ぶ。 →■二次元コード■	知・技 ①学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち 300 字程度から 400 字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表の漢字のうち 900 字程度の漢字を書き、文や文章の中で使っている。((1)イ) ②事象や行為、心情を表す語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)ウ) 主 ・進んで常用漢字について理解を深め、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	-

月	単元名	教材名【領域】 ●学習目標	時	主な学習活動	評価規準	学習指導要領 の言語活動例
9	4 論理的に考える	一〇〇〇円の価値を 考える 【読む(説明)】 読み方を学ぼう④ 三角ロジック 4時間 ◎文章の要旨を捉え、筆者の考えに対して自分の考えをもつ。(Cア) ○文章の構成や展開をもとに、筆者の表現の工夫について考える。(Cエ)	1 2 3 4	◆目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 文章の構造と内容を捉える。 ・本文を通読し、全体の内容を捉える。 ・筆者の提示する問い(問題提起)について考える。 2 文章の要旨を捉える。 ・お金の歴史の流れについて捉える。 ・「日本のお金＝日本の信用」ということについて考え、説明する。 →読み方を学ぼう④ 三角ロジック ■二次元コード■ 3 筆者が示す考えをもとに、自分の考えをもつ。 ・キャッシュレス決済について、筆者が示す二つの異なる主張とその根拠を捉える。 ・筆者が示す二つの異なる主張をもとに、キャッシュレス決済の活用について自分の考えをまとめる。 →思考の方法[具体化する] 4 筆者の主張に対して自分の考えをもつ。 ・筆者の主張について、自分の考えを文章にまとめる。 ・文章をもとに話し合い、考えを共有する。 ◆目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。 →■二次元コード■ デジタル漢字ドリル	知・技 ①原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。(2)ア ②比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方について理解を深め、それらを使っている。(2)イ 思・判・表 ①「読むこと」において、文章の中心的部分と付加的な部分、事実と意見との関係などについて叙述をもとに捉え、要旨を把握している。(Cア) ②「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えている。(Cエ) 主 ・進んで要旨を把握し、学習課題にそって考えをまとめようとしている。	説明の文章を読み、理解したことや考えたことを文章にまとめる。(Cア)
		言葉発見 2 接続する語句・指示する語句 1時間 ◎指示する語句と接続する語句の役割について理解を深める。(知・技(1)エ)	1	◆目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 接続する語句について理解する。 2 指示する語句について理解する。 ◆目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	知・技 ①指示する語句と接続する語句の役割について理解を深めている。(1)エ ②事象や行為、心情を表す語句の量を増している。(1)ウ 主 ・進んで指示する語句と接続する語句の役割について理解を深め、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	-

月	単元名	教材名【領域】 ●学習目標	時	主な学習活動	評価規準	学習指導要領 の言語活動例
		<b>スピーチ 構成を工夫して 魅力を伝える</b> <b>【話す・聞く】</b> 5時間 ◎日常生活を振り返って話題を選び、自分の考えが明確になるように、構成を工夫する。(Aイ) ○聞き手の反応をふまえながら、表現を工夫して話す。(Aウ)	1 2-3 4-5	◆目標と学習の流れを確認し、学習の見通しをもつ。 1 日常生活の中から話題を探す。 ・スピーチの内容を考える。 2 自分の考えが明確になるように、構成を工夫する。 ・スピーチの構成を考える。 →思考の方法【順序立てる】 →資料編「メモを活用する」 ・スピーチの練習をする。 3 聞き手の反応をふまえながら、表現を工夫して話す。 ・グループでスピーチを行う。 ・相互評価する。 →■二次元コード■ ◆目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	<b>知・技</b> ・原因と結果、意見と根拠など、情報と情報との関係について理解している。((2)ア) <b>思・判・表</b> ①「話すこと・聞くこと」において、 <u>自分の考えや根拠が明確になるように、話の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見との関係などに注意して、話の構成を考えている。</u> (Aイ) ②「話すこと・聞くこと」において、相手の反応をふまえながら、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫している。(Aウ) <b>主</b> ・積極的に構成を考え、学習の見通しをもって話そうとしている。	紹介や報告など伝えたいことを話したり、それらを聞いて質問したり意見などを述べたりする。(Aア)
		<b>漢字を身につけよう④</b> 1時間 ◎常用漢字の読み・書きについて理解を深める。(知・技(1)イ)	1	1 中学校で学習する漢字を読む。 2 中学校で新しく学習する読みを学ぶ。 →■二次元コード■	<b>知・技</b> ① <u>学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち 300 字程度から 400 字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表の漢字のうち 900 字程度の漢字を書き、文や文章の中で使っている。</u> ((1)イ) ②事象や行為、心情を表す語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)ウ) <b>主</b> ・進んで常用漢字について理解を深め、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	-
10	5 古典に学ぶ	<b>月を思う心</b> <b>【読む(解説)】</b> 1時間 ◎古典の世界への理解を深め、月と人々との関わりについて考える。(知・技(3)イ、Cア)	1	◆目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 月と人々との関わりについて考える。 ・本文を通読し、内容を捉える。 ・月と昔の人々の生活について想像し、人々の月への思いについて考える。 ◆目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	<b>知・技</b> ・古典にはさまざまな種類の作品があることを知っている。((3)イ) <b>思・判・表</b> ・「読むこと」において、 <u>文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見との関係などについて叙述をもとに捉え、要旨を把握している。</u> (Cア) <b>主</b> ・進んで要旨を把握し、学習したことを生かして考えたことを報告しようとしている。	説明や記録などの文章を読み、理解したことや考えたことを報告する。(Cア)

月	単元名	教材名【領域】 ●学習目標	時	主な学習活動	評価規準	学習指導要領 の言語活動例
		<b>竹取物語</b> <b>【読む(古文)】</b>  <b>古文の読み方</b> <b>古典の仮名遣い</b>  <b>コラム「このあたり」って</b> <b>どのあたり?</b> 4時間  ◎登場人物の相互関係や心情の変化について、描写をもとに捉える。(Cイ) ○古文の仮名遣いやリズムに注意して音読し、古典の世界を感じ取る。(知・技(3)ア)	1-2	◆目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 古文の仮名遣いやリズムに注意して音読し、内容を捉える。 →■二次元コード■ ・歴史的仮名遣いや古典の言葉に注意して音読する。 ・登場人物の相互関係を整理し、物語のあら筋を捉える。 2 登場人物の相互関係や心情の変化について、描写をもとに捉える。 ・主な登場人物の言動から性格を想像し、感じたことを書く。 ・最も悲しんだのは誰か、理由とあわせて考える。 →思考の方法[多角的に見る]	<b>知・技</b> ・音読に必要な文語のきまりを知り、古文を音読し、古典特有のリズムを通して、古典の世界に親しんでいる。(3)ア)  <b>思・判・表</b> ・「読むこと」において、 <u>場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写をもとに捉えている。</u> (Cイ)  <b>主</b> ・進んで登場人物の相互関係や心情の変化を描写をもとに捉え、学習課題にそって考えを伝え合おうとしている。	小説や随筆などの文章を読み、考えたことを伝え合う。(Cイ)
		<b>故事成語——矛盾</b> <b>【読む(漢文)】</b>  <b>漢文の読み方</b> <b>訓読の仕方</b> 3時間  ◎話の展開を捉え、表現の効果について考える。(Cエ) ○訓読の仕方を知り、漢文調のリズムを意識して音読する。(知・技(3)ア)	1	◆目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 訓読の仕方を知り、漢文調のリズムを意識して音読する。 →■二次元コード■ ・漢文調のリズムに注意して「矛盾」を音読し、話の流れを捉える。 ・訓読の仕方について理解する。 2 「矛盾」の話の展開を捉え、他の故事成語について調べる。 ・「矛盾」の意味の由来について、四つの絵を用いて説明する。 ・他の故事成語について調べ、それを使って短い文章を作る。 3 故事成語の優れた点やおもしろさ、表現の効果について考える。 ・故事成語の優れた点やおもしろさなどについて、自分の考えを書く。 ◆目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。 (学びを広げる) ・故事成語の一つを選び、その物語を四コマ漫画で表す。 →■二次元コード■ デジタル漢字ドリル／補充教材	<b>知・技</b> ・音読に必要な文語のきまりや訓読の仕方を知り、古文や漢文を音読し、古典特有のリズムを通して、古典の世界に親しんでいる。(3)ア)  <b>思・判・表</b> ・「読むこと」において、 <u>文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えている。</u> (Cエ)  <b>主</b> ・進んで文章の構成や表現の効果を捉え、学習課題にそって考えを記録しようとしている。	小説や随筆などを読み、考えたことを記録する。(Cイ)

月	単元名	教材名【領域】 ●学習目標	時	主な学習活動	評価規準	学習指導要領 の言語活動例
		漢字のしくみ 3 漢字の音と訓  コラム 漢字文化をアレ ンジする日本の力 1 時間  ◎漢字の音と訓について理 解を深める。(知・技(1)イ)	1	◆目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 漢字の音読みと訓読みについて理解する。 2 同音異字と同訓異字について理解する。 3 「確かめよう」の課題に取り組む。 ◆目標をもう一度確認し、学んだことを自分の 言葉でまとめる。 →■二次元コード■ デジタル漢字ドリル	知・技 ①学年別漢字配当表に示されて いる漢字に加え、その他の常用 漢字のうち 300 字程度から 400 字程度を読むことができる。 ((1)イ) ②事象や行為、心情を表す語句 の量を増している。(1)ウ  主 ・進んで常用漢字について理解を 深め、学習したことを生かして課 題に取り組もうとしている。	-
		漢字を身につけよう⑤ 1 時間  ◎常用漢字の読み・書きにつ いて理解を深める。(知・技 (1)イ)	1	1 中学校で学習する漢字を読む。 2 中学校で新しく学習する読みを学ぶ。 →■二次元コード■	知・技 ①学年別漢字配当表に示されて いる漢字に加え、その他の常用 漢字のうち 300 字程度から 400 字程度までの漢字を読んでいる。 また、学年別漢字配当表の 漢字のうち 900 字程度の漢字を 書き、文や文章の中で使ってい る。((1)イ) ②事象や行為、心情を表す語句 の量を増し、語感を磨き語彙を 豊かにしている。(1)ウ  主 ・進んで常用漢字について理解を 深め、学習したことを生かして課 題に取り組もうとしている。	

月	単元名	教材名【領域】 ●学習目標	時	主な学習活動	評価規準	学習指導要領 の言語活動例
11	6 情報を関係づける	<b>マンガ 情報の扱い方</b> <b>【読む(解説)】</b> 1時間 <b>防災に関するデータ</b> <b>【読む(図表)】</b> 1時間 <b>「みんなであるから大丈夫」の怖さ</b> <b>【読む(記録)】</b> 2時間 <b>行事案内リーフレット</b> <b>必要な情報を</b> <b>わかりやすく伝える</b> <b>【書く】</b> 5時間 ◎比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方について理解を深め、内容を解釈する。(知・技(2)イ・Cウ) ◎引用や出典の示し方について理解を深め、読み手の立場に立って表記や表現の仕方を整える。(Bエ)	1	◆目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 情報の整理の仕方について理解を深める。 ・目標を確認し、学習の見通しをもつ。 ・マンガ「二つのデータ、どう関係づける？」を読んで、情報の整理の仕方について理解する。 ・データを関係づけるうえで注意すべきことについて話し合う。 ・学校や家庭で災害について備えるべきことについて話し合う。 2 2 資料A「防災に関するデータ」のデータをふまえて人々の行動の課題を考える。 ・「1 警戒レベルの種類と内容」から、災害時にとるべき行動について考える。 ・「2 災害が起きたときに実際にとった行動についてのアンケート」から、災害時の人々の行動を捉える。 ・1と2のデータからわかる避難行動における問題点について考える。 3 3 資料B「『みんなであるから大丈夫』の怖さ」を読み、緊急時になぜ逃げないのかを捉える。 ・本文を通読し、内容を捉える。 ・「集団同調性バイアス」の意味とはたらきについてまとめる。 ・実験の結果から導き出される筆者の意見を捉える。 4 4 資料Aと資料Bを関連づけて、避難行動をとることの難しさについて考えを深める。 ・資料Aと資料Bから読み取ったことを関連づけて、その他の原因について考える。 ・必要に応じて、学校図書館やインターネットを活用し、関連する多様な情報を収集する。 5-7 5 リーフレットに掲載する内容を決め、情報を集めて交流する。 ・資料A・資料Bの学習で、自分が大切だと思ったことをまとめ、リーフレットに掲載する内容を決める。 ・リーフレットに掲載する内容にそって情報を集める。 8-9 6 構成を考えてリーフレットを書く。 ・集めた情報をリーフレットにまとめる。 ・読み手の立場に立って読み返し、表現や表記などを工夫する。 ◆必要な情報をわかりやすく伝えることについて、学んだことを自分の言葉でまとめる。 →■二次元コード■ デジタル漢字ドリル／参考資料	<b>知・技</b> ①比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方、引用の仕方や出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。(2)イ) ②原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。(2)ア) <b>思・判・表</b> ①「書くこと」において、読み手の立場に立って、表記や語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えている。(Bエ) ②「読むこと」において、目的に応じて必要な情報に着目して要約し、内容を解釈している。(Cウ) ③「読むこと」において、文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見との関係などについて叙述をもとに捉え、要旨を把握している。(Cア) ④「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにしていく。(Cオ) <b>主</b> ・粘り強く情報の整理の仕方に注意して内容を解釈し、学習課題にそって行事案内リーフレットを書こうとしている。	行事の案内や報告の文章を書くなど、伝えるべきことを整理して書く。(Bイ) 説明や記録などの文章を読み、理解したことや考えたことを文章にまとめる。(Cア) 学校図書館などを利用し、多様な情報を得て、考えたことなどを報告する。(Cウ)

月	単元名	教材名【領域】 ●学習目標	時	主な学習活動	評価規準	学習指導要領 の言語活動例
		<b>言葉発見 3 方言と共通語</b> 1 時間  ◎共通語と方言の果たす役割について理解する。(知・技(3)ウ)	1	◆目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 地域による言葉の違いがあることを理解する。 2 方言と共通語の使い分けについて考える。 3 方言のアクセントの特徴について考える。 4 「確かめよう」の課題に取り組む。 ◆目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	<b>知・技</b> <b>①共通語と方言の果たす役割について理解している。((3)ウ)</b> <b>②事象や行為、心情を表す語句の量を増している。((1)ウ)</b> <b>主</b> ・進んで共通語と方言の果たす役割について理解し、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	
		<b>漢字を身につけよう⑥</b> 1 時間  ◎常用漢字の読み・書きについて理解を深める。(知・技(1)イ)	1	1 中学校で学習する漢字を読む。 2 中学校で新しく学習する読みを学ぶ。 →■二次元コード■	<b>知・技</b> <b>①学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち 300 字程度から 400 字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表の漢字のうち 900 字程度の漢字を書き、文や文章の中で使っている。((1)イ)</b> <b>②事象や行為、心情を表す語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)ウ)</b> <b>主</b> ・進んで常用漢字について理解を深め、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	
12	7 読みを深め合う	<b>それだけでいい 【読む(詩)】</b>  読み方を学ぼう⑤ 詩の表現技法 2 時間  ◎表現に着目しながら読み、その特徴と効果について自分の考えをもつ。(Cエ) ○詩の中の言葉を的確に捉えて、内容を理解する。(Cウ)	1	◆目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 詩の中の言葉を的確に捉えて、内容を理解する。 ・繰り返される表現を意識して、音読する。 ・山、海、星について、「……だけでいい」といっている理由を考える。 2 表現に着目しながら読み、その特徴と効果について自分の考えをもつ。 ・第三連までと、第四連との共通点・相違点について話し合う。 →読み方を学ぼう⑤ 詩の表現技法 ■二次元コード■ ・第五連が一行のみで表現されていることの効果について、交流する。 ◆目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。  〈学びを広げる〉 →書く「詩」へ ・構成を工夫したり、表現技法を活用したりして詩を書く。	<b>知・技</b> ・比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方について理解を深め、それらを使っている。((2)イ) <b>思・判・表</b> <b>①「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えている。(Cエ)</b> <b>②「読むこと」において、場面と場面、場面と描写などを結びつけて内容を解釈している。(Cウ)</b> <b>主</b> ・進んで文章の構成や展開、表現の効果を捉え、学習課題にそって考えたことを伝え合おうとしている。	小説や随筆などを読み、考えたことを伝え合う。(Cイ)

月	単元名	教材名【領域】 ●学習目標	時	主な学習活動	評価規準	学習指導要領 の言語活動例
		<b>言葉発見 4</b> <b>比喩・倒置・反復・対句・体言止め</b> 1 時間 ◎比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解し使う。(知・技(1)オ)	1	◆目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 比喩(直喩・隠喩・擬人法)について理解する。 2 倒置・反復・対句・体言止めについて理解する。 3 「確かめよう」の課題に取り組む。 ◆目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	<b>知・技</b> ①比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解し使っている。(1)オ) ②事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)ウ) <b>主</b> ・進んで表現の技法を使い、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	
		<b>詩</b> <b>思いや発見を</b> <b>リズムに乗せる</b> <b>【書く】</b> 4 時間 ◎自分の感じたことが効果的に伝わるように、表現を工夫し、作品全体を整える。(Bエ) ○日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理して、伝えたいことをしぼり込む。(Bア)	1	◆目標と学習の流れを確認し、学習の見通しをもつ。 1 日常生活の中から題材を決め、集めた題材を整理して、伝えたいことをしぼり込む。 ・日常生活の中から、詩の題材を選ぶ。 ・題材の中心を明確にして、伝えたいことをしぼり込む。 2 2 自分の感じたことが効果的に伝わるように、表現を工夫する。 ・伝えたい思いが伝わる表現になるよう工夫して書く。 ・詩の表現技法を効果的に活用する。 →■二次元コード■ 3 3 推敲して作品全体を整える。 ・自分の思いがうまく表現されているか読み返し、推敲する。 ・複数の観点で比較しながらふさわしい表現を選び、作品全体を整える。 →思考の方法[比較する] 4 4 交流を通して、表現のよい点や改善点を見つける。 ・完成した詩を読み合う。 ・伝わってきた思いや表現の工夫などについて、気づいたことを交流する。 ◆目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	<b>知・技</b> ・比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方について理解を深め、それらを使っている。(2)イ) <b>思・判・表</b> ①「書くこと」において、読み手の立場に立って、表記や語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えている。(Bエ) ②「書くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決めている。(Bア) <b>主</b> ・粘り強く叙述の仕方などを確かめ、学習の見通しをもって詩を書こうとしている。	詩を創作するなど、感じたことや考えたことを書く。(Bウ)

月	単元名	教材名【領域】 ●学習目標	時	主な学習活動	評価規準	学習指導要領 の言語活動例
		<p>トロッコ</p> <p>【読む(小説)】</p> <p>読み方を学ぼう⑥</p> <p>情景描写</p> <p>芥川龍之介の世界</p> <p>5時間</p> <p>◎情景描写と場面の展開を結びつけて内容を捉える。(Cウ)</p> <p>○人物の言動に着目して、心情の変化を捉える。(Cイ)</p>	1	<p>◆目標を確認し、学習の見通しをもつ。</p> <p>1 主人公のトロッコに対する思いを捉える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本文を通読し、内容を捉える。</li> <li>・良平が、トロッコにどのような思いを抱いているかを考える。</li> </ul>	<p>知・技</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方について理解を深め、それらを使っている。(2)イ</li> </ul>	小説を読み、考えたことを記録する。(Cイ)
			2	<p>2 人物の言動に着目して、心情の変化を捉える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・登場人物の言動に着目する。</li> <li>・場面ごとに良平の心情を読み取り、その変化を捉える。</li> </ul>	<p>思・判・表</p> <p>①「読むこと」において、場面と場面、場面と描写などを結びつけて内容を解釈している。(Cウ)</p> <p>②「読むこと」において、場面の展開や登場人物の心情の変化などについて、描写をもとに捉えている。(Cイ)</p>	
			3-4	<p>3 情景描写と場面の展開を捉え、表現の効果について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・情景描写から良平の心情を捉える。</li> <li>・表現の効果を考え、内容を解釈する。</li> </ul> <p>→読み方を学ぼう⑥ 情景描写</p> <p>■二次元コード■</p>	<p>主</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・進んで場面と描写などを結びつけて内容を解釈し、学習課題にそって考えたことを記録しようとしている。</li> </ul>	
			5	<p>4 最後の一文に描かれた情景から、作品を読み深める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・最後の一文から受けるイメージについて考える。</li> <li>・大人になった良平が、「そのときの彼」を思い出す理由について考える。</li> </ul> <p>→思考の方法【比較する】</p> <p>◆目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。</p> <p>→■二次元コード■ 参考資料/デジタル漢字ドリル</p>		
		<p>読書活動</p> <p>私が選ぶこの一文</p> <p>【話す・聞く】</p> <p>3時間</p> <p>◎読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解する。(知・技(3)オ)</p> <p>◎話し手の考えとの共通点や相違点をふまえながら、自分の考えをまとめる。(Aエ)</p>	1	<p>◆目標を確認し、学習の見通しをもつ。</p> <p>1 興味や関心のある本を選び、読む。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館や本の紹介リストを活用して、本を選ぶ。</li> </ul> <p>→資料編 読書の広場「小さな図書館」</p> <p>→■二次元コード■</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・心に残った場面や気になる言葉などを書き留めながら、本を読む。</li> </ul>	<p>知・技</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解している。((3)オ)</li> </ul>	紹介や報告など伝えたいことを話したり、それを聞いて質問したり意見などを述べたりする。(Aア)
			2	<p>2 心に残った一文を選ぶ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本の中から心に残った一文を選ぶ。</li> <li>・なぜその一文を選んだのか、エピソードを交えながら、自分の考えをまとめる。</li> </ul>	<p>思・判・表</p> <p>①「話すこと・聞くこと」において、必要に応じて記録したり質問したりしながら話の内容を捉え、共通点や相違点などをふまえて、自分の考えをまとめている。(Aエ)</p>	
			3	<p>3 グループになって、一文を紹介し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループになって、選んだ理由と合わせて一文を紹介する。</li> <li>・質問をし合い、本の内容やお互いの考えについて理解を深める。</li> </ul> <p>◆目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。</p> <p>→■二次元コード■ 読書記録カード</p>	<p>②「話すこと・聞くこと」において、考えや根拠が明確になるように、話の中心的部分と付加的な部分、事実と意見との関係に注意して話の構成を考えている。(Aイ)</p> <p>主</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・積極的に自分の考えをまとめ、学習の見通しをもって紹介したいことを話したり聞いたりしようとしている。</li> </ul>	

月	単元名	教材名【領域】 ●学習目標	時	主な学習活動	評価規準	学習指導要領 の言語活動例
		漢字を身につけよう⑦ 1時間 ◎常用漢字の読み・書きについて理解を深める。(知・技(1)イ)	1	1 中学校で学習する漢字を読む。 2 中学校で新しく学習する読みを学ぶ。 →■二次元コード■	知・技 ①学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち300字程度から400字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表の漢字のうち900字程度の漢字を書き、文や文章の中で使っている。(1)イ ②事象や行為、心情を表す語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)ウ 主 ・進んで常用漢字について理解を深め、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	
1	8 視野を広げる	意味と意図 ——コミュニケーションを考える 【読む(説明)】 読み方を学ぼう⑦ 要約 5時間 ◎必要な情報に着目して文章を要約し、内容を捉える。(Cウ) ◎文章で読んで理解したことをもとに、自分の考えを深める。(Cオ)	1	◆目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 文章に示された事例について、比較して捉える。 ・本文を通読し、内容を捉える。 ・「意味」と「意図」について、本文を抜き出して整理する。 ・「ジャガイモ」と「窓」の例の共通点を見つける。 2-3 2 必要な情報に着目して文章を要約し、内容を捉える。 ・「意図の理解」について、具体例をもとに捉える。 ・「意図の理解」が重要な理由を説明する。 →読み方を学ぼう⑦ 要約 ■二次元コード■ 4-5 3 文章を読んで理解したことをもとに自分の考えを深める。 ・SNSの例をあげていることの効果を考える。 ・筆者の考えについて、自分の経験と関連づけて考える。 ・自分の考えを文章にまとめる。 →思考の方法【関連づける】 ◆目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。 →■二次元コード■ デジタル漢字ドリル  〈学びを広げる〉 →📖書く「意見文」へ ・根拠を明確にした意見文を書く。	知・技 ・比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方について理解を深め、それらを使っている。(2)イ 思・判・表 ①「読むこと」において、目的に応じて必要な情報に着目して要約し、内容を解釈している。(Cウ) ②「読むこと」において、文章を読んで理解したことを基づいて、自分の考えを確かなものになっている。(Cオ) 主 ・進んで必要な情報に着目して要約し、学習課題にそって理解したことを文章にまとめようとしている。	説明の文章を読み、理解したことや考えたことを報告したり文章にまとめたりする。(Cア)

月	単元名	教材名【領域】 ●学習目標	時	主な学習活動	評価規準	学習指導要領 の言語活動例
		<p>意見文 根拠を明確にして 考えを述べる</p> <p>【書く】</p> <p>6 時間</p> <p>◎書く内容の中心が明確になるように、段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考える。(Bイ)</p> <p>◎根拠を明確にしなが、自分の考えが伝わる文章になるように工夫する。(Bウ)</p>	1-2	<p>◆目標と学習の流れを確認し、学習の見通しをもつ。</p> <p>1 交流を通して意見をまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・共感したり、違和感を覚えたりした体験を思い起こす。</li> <li>・交流を通して、体験とそのときの思いや感覚を明らかにする。</li> <li>・体験から導き出された自分の主張を書き出す。</li> <li>・事実や理由づけを整理して三角ロジックの形で書き出す。</li> </ul> <p>3-4</p> <p>2 主張の根拠を明確にして意見文を書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「事実」や「理由づけ」を用いて、主張の根拠が明確になるような組み立てを考える。</li> <li>・根拠を明確にしなが意見文を書く。</li> </ul> <p>→■二次元コード■</p> <p>5-6</p> <p>3 書いた意見文を読み合い、書き直す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・完成した意見文を読み合う。</li> <li>・「納得できたか」「根拠は明確か」など、意見や感想を伝え合う。</li> <li>・意見や感想をもとに、書き直して完成させる。</li> </ul> <p>◆目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。</p> <p>→■二次元コード■ 参考資料</p>	<p>知・技</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。((2)ア)</li> </ul> <p>思・判・表</p> <p>①「書くこと」において、書く内容の中心が明確になるように、段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考えている。(Bイ)</p> <p>②「書くこと」において、根拠を明確にしなが、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。(Bウ)</p> <p>主</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・粘り強く根拠が明確になるよう工夫し、学習の見通しをもって意見文を書こうとしている。</li> </ul>	<p>本や資料から文章や図表などを引用して説明したり記録したりするなど、事実やそれをもとに考えたことを書く。(Bア)</p>
		<p>文法の窓 2 単語の類別・品詞</p> <p>3 時間</p> <p>◎単語の類別・品詞について理解する。(知・技(1)エ)</p>	1-3	<p>◆目標を確認し、学習の見通しをもつ。</p> <p>1 「文法の窓 2」で単語の類別や品詞について考える。</p> <p>2 「文法のまとめ」「3 単語の類別・品詞」で、単語の類別や品詞について理解する。</p> <p>3 「文法のまとめ」「4 名詞」「5 副詞・連体詞・接続詞・感動詞」で、各品詞の特徴を理解する。</p> <p>4 「確認しよう 2」の課題に取り組む。</p> <p>→■二次元コード■</p> <p>◆目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。</p>	<p>知・技</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・単語の類別について理解している。((1)エ)</li> </ul> <p>主</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・進んで単語の類別について理解し、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。</li> </ul>	
		<p>漢字を身につけよう⑧</p> <p>1 時間</p> <p>◎常用漢字の読み・書きについて理解を深める。(知・技(1)イ)</p>	1	<p>1 中学校で学習する漢字を読む。</p> <p>2 中学校で新しく学習する読みを学ぶ。</p> <p>→■二次元コード■</p>	<p>知・技</p> <p>①学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち 300 字程度から 400 字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表の漢字のうち 900 字程度の漢字を書き、文や文章の中で使っている。((1)イ)</p> <p>②事象や行為、心情を表す語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)ウ)</p> <p>主</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・進んで常用漢字について理解を深め、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。</li> </ul>	-

月	単元名	教材名【領域】 ●学習目標	時	主な学習活動	評価規準	学習指導要領 の言語活動例
2	9 振り返って見つける	少年の日の思い出 【読む(小説)】  読み方を学ぼう⑧ 語り手・視点 5時間	1	◆目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 過去を回想する構成と登場人物の相互関係を捉える。 ・本文を通読し、全体の構成を捉える。 ・現在の場面と過去の場面に分けて登場人物を書き出し、関係を整理する。	知・技 ・原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。((2)ア) 思・判・表 ①「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えている。(Cエ) ②「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにしていく。(Cオ) 主 ・進んで文章の構成や表現の効果を捉え、自分の考えを確かなものにし、学習課題にそって考えを伝え合おうとしている。	小説を読み、考えたことを伝え合う。(Cイ)
		2	2 登場人物の人物像を、描写をもとに捉える。 ・「僕」のチョウに対する熱情を読み取る。 ・「僕」から見たエーミールの人物像を捉える。			
		◎過去を回想する構成、語り手や視点を捉え、表現の効果について考える。(Cエ) ◎登場人物の行動や心情について、自分の考えを確かなものにする。(Cオ)	3	3 登場人物の心情の変化を、描写をもとに捉える。 ・場面ごとに「僕」の心情を読み取る。 ・場面の展開にそって、「僕」の心情の変化を捉える。		
			4	4 登場人物の言動の意味を、語りや描写をもとに捉える。 ・最終場面の描写から、「僕」の行為の意味を考える。 ・「僕」の行為の意味について、考えたことを共有する。 →思考の方法【仮定する】		
			5	5 語り手の視点を捉え、表現の効果について考える。 ・エーミールの人物像を自分の視点から捉え直す。 →読み方を学ぼう⑧ 語り手・視点 ■二次元コード■ ・現在の場面が果たす役割を捉え、表現の効果について考える。 ◆目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。 →■二次元コード■ デジタル漢字ドリル		
		漢字を身につけよう⑨ 1時間  ◎常用漢字の読み・書きについて理解を深める。(知・技(1)イ)	1	1 中学校で学習する漢字を読む。 2 中学校で新しく学習する読みを学ぶ。 →■二次元コード■	知・技 ①学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち300字程度から400字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表の漢字のうち900字程度の漢字を書き、文や文章の中で使っている。((1)イ) ②事象や行為、心情を表す語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)ウ) 主 ・進んで常用漢字について理解を深め、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	-

月	単元名	教材名【領域】 ●学習目標	時	主な学習活動	評価規準	学習指導要領 の言語活動例
3		<b>グループ新聞</b> 一年間の自分とクラスを振り返って <b>【話す・聞く】</b> 3時間 <b>【書く】</b> 5時間 ◎取材して集めた情報を、編集会議によって検討したり整理したりして、考えをまとめる。(Aア) ◎読み手の立場に立って文章を読み返し、表記や表現の仕方などを確かめて、文章を整える。(Bエ)	1-2	◆目標と学習の流れを確認し、学習の見通しをもつ。 1 編集会議を開き、記事の内容を決める。 ・できごとを振り返り、記事にしたいものを書き出す。 ・四、五人のグループで編集部を作る。 ・編集部内で感想や情報を交換し合い、新聞の特徴、新聞名、記事の候補を決める。 ・記事の候補について、取材や編集会議をする。	<b>知・技</b> ・比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方について理解を深め、それらを使っている。(2)イ <b>思・判・表</b> <b>①「話すこと・聞くこと」において、集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討している。(Aア)</b> <b>②「書くこと」において、読み手の立場に立って、表記や語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えている。(Bエ)</b>	互いの考えを伝えるなどして、少人数で話し合う。(Aイ)
			3-4	2 レイアウトを決めて、記事を書く。 ・記事の場所を割り振り、字数・紙面の形と大きさ・見出し・写真の有無を確認する。 ・記事の執筆担当者を決め、文章を書き、図表やイラストを作成する。	<b>主</b> ・積極的に伝え合う内容を検討し、粘り強く表記や語句の用法を確かめ、学習の見通しをもってグループ新聞を作ろうとしている。	本や資料から文章や図表などを引用して説明したり記録したりするなど、事実やそれをもとに考えたことを書く。(Bア)
			5-8	3 記事を推敲して紙面を作り、新聞を読み合う。 ・記事を持ち寄り、読み手の立場に立って文章を読み合う。 →資料編「原稿用紙の使い方・推敲の仕方」 ・レイアウトにそって構成し、紙面を完成させる。 ・新聞を作る際に工夫したこと、新聞を読んで新たに気づいたことや感じたことを交流する。 ◆目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。 →■二次元コード■ 参考資料		
		歌の言葉 始まりの歌	-	-	-	-

# 令和7年度版『現代の国語』年間学習指導計画例

## 2年

月	単元名	教材名【領域】 ●学習目標	時	主な学習活動	評価規準	学習指導要領 の言語活動例
4	1 豊かに想像する	<b>名づけられた葉</b> <b>【読む(詩)】</b> 2時間 ◎詩にこめられたものの見方を捉え、自分の考えを深める。(Cオ) ○詩のリズムを感じ取りながら音読し、表現の効果について考える。(Cエ)	1	◆目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 詩のリズムを感じ取りながら音読し、表現の効果について考える。 ・繰り返し使われている言葉と、リズムを意識しながら音読する。 ・本文中のたとえについて、内容を捉える。 2 2 詩にこめられたものの見方を捉える。 ・それぞれの連に描かれていることをまとめ、それらの関係を考える。 →思考の方法[関連づける] ・詩のメッセージを捉え、考えたことを書く。 ・書いたことをもとに、考えを伝え合う。 ◆目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	<b>知・技</b> ・類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)エ) <b>思・判・表</b> ①「読むこと」において、 <u>文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりしている。</u> (Cオ) ②「読むこと」において、文章の構成や表現の効果について考えている。(Cエ) <b>主</b> ・進んで自分の考えを広げたり深めたりし、学習課題にそって考えを伝え合おうとしている。	詩歌を読み、考えたことなどを伝え合う。(Cイ)
		<b>セミロングホームルーム</b> <b>【読む(小説)】</b> <b>読み方を学ぼう ①</b> <b>人物設定</b> 4時間 ◎人物の設定の仕方を捉える。(Cア) ○表現や構成の工夫とその効果について考える。(Cエ)	1	◆目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 作品を読んで感じたことを共有する。 →■二次元コード■ ・本文を通読し、全体の内容を捉える。 ・読んで感じたことを本文の表現と結びつけながら発表する。 2 2 人物の設定の仕方を捉える。 ・登場人物を書き出し、人物どうしの関係や言動を整理する。 → <b>読み方を学ぼう ①</b> 人物設定 ■二次元コード■ 3 3 人物の言動の意味や役割について考える。 ・最後の場面のトリノの心情について考えを発表し合う。 ・この話の「主人公」は誰だと考えるか、理由とあわせて話し合う。 →思考の方法[多角的に見る] 4 4 表現や構成の工夫とその効果について考えを深める。 ・表現や構成の工夫とその効果について考え、文章にまとめる。 ・考えたことを共有し合って深める。 ◆目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。 →■二次元コード■ デジタル漢字ドリル	<b>知・技</b> ・情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。((2)イ) <b>思・判・表</b> ①「読むこと」において、 <u>文章全体と部分との関係に注意しながら、登場人物の設定の仕方などを捉えている。</u> (Cア) ②「読むこと」において、文章の構成や表現の効果について考えている。(Cエ) <b>主</b> ・進んで登場人物の設定の仕方などを捉え、学習課題にそって考えを伝え合おうとしている。	小説を読み、引用して解説したり、考えたことなどを伝え合ったりする。(Cイ)

月	単元名	教材名【領域】 ●学習目標	時	主な学習活動	評価規準	学習指導要領 の言語活動例
		<b>言葉発見 1</b> <b>話し言葉と書き言葉</b> 1 時間 ◎話し言葉と書き言葉の特徴について理解する。(知・技(1)イ)	1	◆目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 話し言葉の特徴について考える。 2 書き言葉の特徴について考える。 →■二次元コード■ 3 「確かめよう」の課題に取り組む。 ◆目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	<b>知・技</b> ・話し言葉と書き言葉の違いについて理解している。((1)イ) <b>主</b> ・進んで話し言葉と書き言葉の違いについて理解し、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	-
5		<b>グループディスカッション</b> <b>互いの考えを尊重しながら話し合いを深める</b> <b>【話す・聞く】</b> 4 時間 ◎互いの立場や考えを尊重しながら話し合いを深めるための方法を理解し、活用する。(Aオ) ○相手の考えと比較しながら聞き、自分の考えをまとめる。(Aエ)	1	◆目標と学習の流れを確認し、学習の見通しをもつ。 1 互いの立場や考えを尊重しながら話し合いを深めるための方法を理解する。 ・話し合い記録から、「話し合いのこつ」を見つける。 ・「話し合いのこつ」のはたらきや効果について考える。 →■二次元コード■ 2 話し合いを深めるための方法を、グループディスカッションで活用する。 ・「話し合いのこつ」を活用して、グループディスカッションを行う。 ・効果的な発言とその効果を、発言メモにまとめる。 3-4 3 相手の考えと比較しながら聞き、自分の考えをまとめる。 ・発言メモをもとに、グループディスカッションを振り返る。 ・特に効果的だった発言や、「話し合いのこつ」について交流する。 ◆目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。 →■二次元コード■ 参考資料	<b>知・技</b> ・意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。((2)ア) <b>思・判・表</b> <b>①「話すこと・聞くこと」において、互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめている。(Aオ)</b> <b>②「話すこと・聞くこと」において、論理の展開などに注意して聞き、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめている。(Aエ)</b> <b>主</b> ・積極的に互いの立場や考えを尊重しながら、学習の見通しをもって議論や討論をしようとしている。	それぞれの立場から考えを伝えるなどして、議論や討論をする。 (Aイ)
		<b>漢字を身につけよう①</b> 1 時間 ◎常用漢字の読み・書きについて理解を深める。(知・技(1)ウ)	1	1 中学校で学習する漢字を読む。 2 中学校で新しく学習する読みを学ぶ。 →■二次元コード■	<b>知・技</b> <b>①第 1 学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち 350 字程度から 450 字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。((1)ウ)</b> <b>②抽象的な概念を表す語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)エ)</b> <b>主</b> ・進んで常用漢字について理解を深め、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	-

月	単元名	教材名【領域】 ●学習目標	時	主な学習活動	評価規準	学習指導要領 の言語活動例
6	2 わかりやすく伝える	<b>読み方を学ぼう②</b> <b>説明文の論理展開</b> <b>宇宙に行くための素材</b> <b>【読む(論説)】</b> 1時間 ◎文章の構成や論理の展開の仕方を捉える。(Cエ)	1	◆目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 文章の構成や論理の展開の仕方を捉える。 ・本文を通読し、全体の構成を捉える。 ・問いと答えを捉える。 ・本論の論理展開を捉える。 ・なぜ、「段階的な問い」が必要かについて考える。 ◆目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。 →■二次元コード■	(※「人間は他の星に住むことができるのか」と合わせて評価する。)	-
		<b>人間は他の星に住むことができるのか</b> <b>【読む(論説)】</b> 4時間 ◎文章を比較するなどして、構成や論理の展開と表現の効果について考える。(Cエ) ○主張と例示との関係に着目して読み、内容を理解する。(Cア)	1	◆目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 主張と例示との関係に着目して読み、内容を理解する。 ・本文を通読し、全体の内容を捉える。 ・他の星に移り住むための重要な条件を本文から書き抜く。 ・四つの天体についての筆者の判断とその根拠を表に整理する。	<b>知・技</b> <b>①</b> 話や文章の構成や展開について理解を深めている。((1)オ) <b>②</b> 意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。((2)ア) <b>思・判・表</b> <b>①</b> 「読むこと」において、 <u>観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や論理の展開、表現の効果について考えている。(Cエ)</u> <b>②</b> 「読むこと」において、文章全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示の関係などを捉えている。(Cア) <b>主</b> ・進んで文章の構成や論理の展開について考え、学習課題にそって理解したことや考えたことを説明しようとしている。	報告や解説などの文章を読み、理解したことや考えたことを説明する。(Cア)
2-3	2 文章の構成や論理の展開、その効果について考える。 ・筆者の表現の工夫とその効果について考える。 ・筆者の論の進め方の効果について、「宇宙へ行くための素材」と比較して考える。 → <b>読み方を学ぼう②</b> 説明文の論理展開					
			4	3 筆者の考えに対して自分の考えをもち、交流して深め合う。 ・問いに対する筆者の答えについて、自分の考えをまとめる。 ・考えたことをグループで話し合う。 → <b>思考の方法[理由づける]</b> ◆目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。 →■二次元コード■ 参考資料/デジタル漢字ドリル		

月	単元名	教材名【領域】 ●学習目標	時	主な学習活動	評価規準	学習指導要領 の言語活動例
		<b>手紙・メール</b> 心をこめてわかりやすく書く <b>【書く】</b> 4 時間 ◎読み手の立場に立って読み返し、内容が正しくわかりやすく伝わるように文章を整える。(Bエ) ○相手に伝えたい事柄や気持ちを明確にして、手紙の形式をふまえて書く。(Bイ)	1	◆目標と学習の流れを確認し、学習の見通しをもつ。 1 伝える相手を決め、伝えたい事柄や気持ちを明確にする。 ・誰に伝えるかを決める。 ・相手に伝えたい情報や気持ちを決める。 ・手紙で伝えるか、メールで伝えるかを決める。 2 手紙の形式をふまえて下書きをする。 ・「手紙の例」や「メールの例」を参考にして、形式(作法)を確認する。 ・言葉遣いに注意して、心をこめてわかりやすく書く。 →■二次元コード■ 3 読み手の立場に立って読み返し、推敲して文章を整える。 ・読み手の立場に立って読み返し、構成や表現、表記などを確認する。 →資料編「原稿用紙の使い方・推敲の仕方」 ・グループで読み合い、アドバイスを交換する。 4 丁寧に清書し、確認して投函(送信)する。 ・丁寧に心をこめて清書する。 ・不備がないか確認し、投函(送信)する。 ◆目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	<b>知・技</b> ・敬語のはたらきについて理解し、話や文章の中で使おうとしている。((1)カ) <b>思・判・表</b> ①「書くこと」において、読み手の立場に立って、表現の効果などを確かめて、文章を整えている。(Bエ) ②「書くこと」において、伝えたいことがわかりやすく伝わるように、段落相互の関係などを明確にし、文章の構成や展開を工夫している。(Bイ) <b>主</b> ・粘り強く表現の効果などを確かめ、学習の見通しをもって伝えたいことを相手や媒体を考慮して書こうとしている。	社会生活に必要な手紙や電子メールを書くなど、伝えたいことを相手や媒体を考慮して書く。(Bイ)
		<b>言葉発見 2</b> <b>言葉のはたらきとコミュニケーション</b> 1 時間 ◎言葉には、相手の行動を促すはたらきがあることに気づく。(知・技(1)ア)	1	◆目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 相手に何かをはたらきかけるときの表現の仕方や配慮の示し方について考える。 2 「確かめよう」の課題に取り組む。 3 SNSによるコミュニケーションについて理解する。→■二次元コード■ ◆目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	<b>知・技</b> ①言葉には、相手の行動を促すはたらきがあることに気づいている。((1)ア) ②話し言葉と書き言葉の特徴について理解している。((1)イ) <b>主</b> ・進んで言葉には、相手の行動を促すはたらきがあることについて気づき、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	-
		<b>漢字を身につけよう②</b> 1 時間 ◎常用漢字の読み・書きについて理解を深める。(知・技(1)ウ)	1	1 中学校で学習する漢字を読む。 2 中学校で新しく学習する読みを学ぶ。 →■二次元コード■	<b>知・技</b> ①第 1 学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち 350 字程度から 450 字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。((1)ウ) ②抽象的な概念を表す語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)エ) <b>主</b> ・進んで常用漢字について理解を深め、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	-



月	単元名	教材名【領域】 ●学習目標	時	主な学習活動	評価規準	学習指導要領 の言語活動例
		<b>短歌・俳句 表現の仕方を工夫して 豊かに表す</b> <b>【書く】</b> 5時間 ◎作品を読み合い、表現の工夫などについて意見を交流する。(B才) ○情景や心の動きが伝わるように、表現を工夫して書く。(Bウ)	1	◆目標と学習の流れを確認し、学習の見通しをもつ。 1 題材を選び、情景を短い文章で表現する。 ・心に残っていることや、気づいたことなどについて、短い文章を書く。	<b>知・技</b> ・抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)エ) <b>思・判・表</b> ①「書くこと」において、 <u>表現の工夫とその効果などについて、読み手からの助言などをふまえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだしている。(B才)</u> ②「書くこと」において、根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。(Bウ) <b>主</b> ・粘り強く文章のよい点や改善点を見だし、学習の見通しをもって短歌や俳句を創作しようとしている。	短歌や俳句を創作するなど、感じたことや想像したことを書く。(Bウ)
2	2 情景の表現に必要な言葉を取り出し、五音・七音に整える。 ・短い文章から、短歌に使用したい言葉を取り出す。 ・取り出した言葉をもとに五音・七音の言葉にする。 ・言葉を組み合わせ、五七五七七の形にする。					
3	3 情景や感動が伝わるように、表現を工夫する。 ・順序を入れ替えたり、別の言葉に替えたり、比喩を用いたりする。 → <b>思考の方法【順序立てる】</b> ・グループで交流し、表現を工夫する。					
4	4 短歌とはじめの短い文章とを比べ、推敲する。 ・短歌とはじめに書いた短い文章とを読み比べる。 ・納得できる表現になるまで推敲する。					
5	5 作品を読み合い、表現の工夫などについて意見を交流する。 ・発表会や合評会を開いて交流する。 ・短い感想を書き、作者に伝える。 ・それぞれが作った短歌のよいところを見つけ、自分の表現に生かす。 ◆目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。					
		<b>文法の窓 1 用言の活用</b> 3時間 ◎用言の活用について理解する。(知・技(1)才)	1-3	◆目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 「文法の窓 1」で、後ろにつく語によって用言がどのように形を変えるか考える。 2 「文法のまとめ」1「用言の活用」で、用言の活用について理解する。 3 「確認しよう 練習問題 1」の課題に取り組む。→ <b>二次元コード</b> ◆目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	<b>知・技</b> ・ <u>単語の活用について理解している。((1)才)</u> <b>主</b> ・進んで単語の活用について理解し、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	-

月	単元名	教材名【領域】 ●学習目標	時	主な学習活動	評価規準	学習指導要領 の言語活動例
		<b>壁に残された伝言</b> <b>【読む(報告)】</b> 3時間 ◎文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりする。(Cオ) ○文章の全体と部分との関係に着目して読み、内容を理解する。(Cア)	1	◆目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 文章の全体と部分との関係に着目して読み、内容を理解する。 ・本文を通読して、内容を捉える。 ・「伝言」が「発見された経緯」について整理する。 ・「伝言」が「白黒逆転して現れた事情」について整理する。 2 2 文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつける。 ・伝言が、二十世紀の終わりに出てきたことの意味について考える。 ・関係者たちが、「ああそうだったのか」とつぶやいた理由について、交流する。 3 3 筆者の思いをもとに、自分の考えを広げたり深めたりする。 ・「伝言」についての筆者の見方や思いを比較する。 ・最後の一文にこめられた筆者の思いについて話し合う。 ◆目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。 →■二次元コード■ デジタル漢字ドリル	<b>知・技</b> ・抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)エ) <b>思・判・表</b> ①「読むこと」において、 <u>文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりしている。(Cオ)</u> ②「読むこと」において、文章全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示の関係などを捉えている。(Cア) <b>主</b> ・進んで知識や経験と結びつけ、学習課題にそって理解したことや考えたことを説明しようとしている。	報告や解説などの文章を読み、理解したことや考えたことを説明する。(Cア)
		<b>私の読書体験</b> <b>生涯の友と出会う</b> <b>【読む】</b> 1時間 ◎本には、さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り、読書を通して自分の考えを広げたり深めたりする。(知・技(3)エ、Cオ)	1	◆目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 教材文を読み、感想を交流する。 ・本文を通読して、内容を捉える。 ・感じたことや考えたことを交流する。 ・学校図書館などで本を選んで読むことへつなげる。 →資料編 読書の広場「小さな図書館」 →■二次元コード■ ◆目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	<b>知・技</b> ・ <u>本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かしている。(3)エ)</u> <b>思・判・表</b> ・「読むこと」において、 <u>文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりしている。(Cオ)</u> <b>主</b> ・進んで自分の考えを広げたり深めたりし、学習したことを生かして本や新聞、インターネットなどから集めた情報を活用しようとしている。	本や新聞、インターネットなどから集めた情報を活用し、出典を明らかにしながら、考えたことなどを説明したり提案したりする。(Cウ)

月	単元名	教材名【領域】 ●学習目標	時	主な学習活動	評価規準	学習指導要領 の言語活動例
		漢字を身につけよう③ 1 時間 ◎常用漢字の読み・書きについて理解を深める。(知・技(1)ウ)	1	1 中学校で学習する漢字を読む。 2 中学校で新しく学習する読みを学ぶ。 →■二次元コード■	知・技 ①第 1 学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち 350 字程度から 450 字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。(1)ウ) ②抽象的な概念を表す語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)エ) 主 ・進んで常用漢字について理解を深め、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	-
9	4 論理的に考える	味は味覚だけでは決まらない 【読む(論説)】 読み方を学ぼう④ 図表と文章 4 時間 ◎図表と文章などを結びつけて、筆者の考えを捉える。(Cウ) ○文章を読んで理解した味の感じ方について、知識や経験と結びつけて自分の考えを広げる。(Cオ)	1	◆目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 本文を読んで内容を捉える。 ・本文を通読し、全体の内容を捉える。 ・「味」と「基本味」について、本文から必要な情報を抜き出してまとめる。 ・本文の記述をもとに、舌と舌以外の感覚のはたらきについてまとめる。 2 2 筆者の考えを捉え、話し合っって自分の考えを深める。 ・「味覚」「嗅覚」「触覚」「聴覚」「視覚」の順序で説明していることについて考える。 →思考の方法[順序立てる] 3 3 文章と図表とを結びつけて内容を捉え、図表の効果を考える。 ・図表が果たしている効果やはたらきについて、文章との対応に着目して考える。 →読み方を学ぼう④ 図表と文章 ■二次元コード■ ・考えたことを交流する。 4 4 文章を読んで理解したことと、知識や経験とを結びつけて、考えを広げる。 ・味覚以外の感覚の影響について考える。 ・考えたことを共有し、自分の考えを広げる。 ◆目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。 →■二次元コード■ デジタル漢字ドリル	知・技 ・情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。(2)イ) 思・判・表 ①「読むこと」において、文章と図表などを結びつけ、その関係をふまえて内容を解釈している。(Cウ) ②「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりしている。(Cオ) 主 ・進んで文章と図表などを結びつけて内容を解釈し、学習課題にそって考えたことを文章にまとめようとしている。	報告や解説などの文章を読み、理解したことや考えたことを文章にまとめる。(Cア)
		言葉発見 3 敬語の意味と種類 1 時間 ◎敬語のはたらきについて理解し、話や文章の中で使う。(知・技(1)カ)	1	◆目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 「丁寧語」「尊敬語」「謙譲語」の違いを理解する。 2 「確かめよう」の課題に取り組む。 ◆目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	知・技 ①敬語のはたらきについて理解し、話や文章の中で使っている。(1)カ) ②言葉には、相手の行動を促すはたらきがあることに気づいている。(1)ア) 主 ・進んで敬語のはたらきについて理解し、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	-

月	単元名	教材名【領域】 ●学習目標	時	主な学習活動	評価規準	学習指導要領 の言語活動例
		<p><b>プレゼンテーション</b> 資料や機器を活用して 効果的に発表する</p> <p>【話す・聞く】</p> <p>5 時間</p> <p>◎資料や機器を用いるなどして、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫する。(Aウ)</p> <p>○自分の立場や考えが明確になるように、根拠の適切さや論理の展開などに注意して、話の構成を工夫する。(Aイ)</p>	1	<p>◆目標と学習の流れを確認し、学習の見通しをもつ。</p> <p>1 社会生活の中から題材を決め、内容を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相手と目的を決める。</li> <li>・身のまわりのできごとや社会生活の中からテーマを探す。</li> <li>・アイデアを出し合って、内容を考える。</li> </ul> <p>→思考の方法[具体化・抽象化する]</p>	<p><b>知・技</b></p> <p>①話や文章の構成や展開について理解を深めている。((1)オ)</p> <p>②意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。((2)ア)</p> <p><b>思・判・表</b></p> <p>①「話すこと・聞くこと」において、<u>資料や機器を用いるなどして、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫している。</u>(Aウ)</p> <p>②「話すこと・聞くこと」において、自分の立場や考えが明確になるように、根拠の適切さや論理の展開などに注意して、話の構成を工夫している。(Aイ)</p> <p><b>主</b></p> <p>・積極的に資料や機器を用い、学習の見通しをもって説明や提案をしようとしている。</p>	<p>説明や提案など伝えたいことを話したり、それらを聞いて質問や助言などをしたりする。(Aア)</p>
		2	<p>2 聞き手にわかりやすく伝えるために必要な情報を収集する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・テーマにそって必要な情報を考える。</li> <li>・調査方法を検討し、情報を集める。</li> </ul> <p>→■二次元コード■</p>			
		3	<p>3 資料や機器を効果的に活用して表現を工夫する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・集めた情報を整理・加工して提示資料を作る。</li> <li>・効果的な伝え方を考え、プレゼンテーションの構成と役割を決める。</li> <li>・リハーサルを行う。</li> </ul> <p>→■二次元コード■</p>			
		4-5	<p>4 相手や目的に応じた伝え方を工夫してプレゼンテーションを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プレゼンテーションを行う。</li> <li>・互いのプレゼンテーションについて評価し合う。</li> </ul> <p>◆目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。</p>			
		<p><b>漢字を身につけよう④</b></p> <p>1 時間</p> <p>◎常用漢字の読み・書きについて理解を深める。(知・技(1)ウ)</p>	1	<p>1 中学校で学習する漢字を読む。</p> <p>2 中学校で新しく学習する読みを学ぶ。</p> <p>→■二次元コード■</p>	<p><b>知・技</b></p> <p>①<u>第 1 学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち 350 字程度から 450 字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。</u>((1)ウ)</p> <p>②抽象的な概念を表す語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)エ)</p> <p><b>主</b></p> <p>・進んで常用漢字について理解を深め、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。</p>	-

月	単元名	教材名【領域】 ●学習目標	時	主な学習活動	評価規準	学習指導要領 の言語活動例
10	5 古典に学ぶ	枕草子・徒然草 【読む(古文)】 4時間 ◎文章を読んで考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを深める。(Cオ) ○それぞれの作品の特徴を生かして音読し、古典に親しむ。(知・技(3)ア)	1	◆目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 本文を通読し、内容を捉える。 →■二次元コード■ ・意味の切れめに注意して音読し、内容を捉える。	<b>知・技</b> <b>①</b> 作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しんでいる。(3)ア) <b>②</b> 現代語訳や語注などを手がかりに作品を読むことを通して、古典に表れたものの見方や考え方を知っている。(3)イ) <b>思・判・表</b> <u>・「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりしている。(Cオ)</u> <b>主</b> ・進んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、学習課題にそって考えを伝え合おうとしている。	詩歌や小説などを読み、考えたことを伝え合う。(Cイ)
2	2 「枕草子」について、筆者のものの見方や感じ方を捉える。 ・筆者が「をかし」と評価しているものについて捉える。 ・筆者が「うつくし」と指摘しているものを捉え、自分の感じ方と比べる。					
3	3 「徒然草」について、筆者のものの見方や感じ方を捉える。 ・筆者の「先達はあらまほしきことなり。」の言葉について考える。 ・「この戒め」が指す内容について説明する。					
4	4 古人の心情を現代の自分たちとの対比の中で読み取る。 ・清少納言と兼好法師の見方や感じ方について、考えたことを文章にまとめる。 ・書いたことをもとに、考えを共有し合う。 ◆目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。 (学びを広げる) ・他の章段を読んで好きな章段を選び、紹介し合う。 →■二次元コード■ 参考資料／デジタル漢字ドリル／補充教材					

月	単元名	教材名【領域】 ●学習目標	時	主な学習活動	評価規準	学習指導要領 の言語活動例
		<b>平家物語</b> <b>【読む(古文)】</b>  <b>読み方を学ぼう⑤</b> <b>物語の転換点</b>  <b>コラム あの人の歌</b> 5時間  ◎場面の展開や状況を捉え、表現や構成の工夫と効果について考える。(C工) ○語句の意味に注意しながら音読し、古典のものの見方や感じ方を捉える。(知・技(3)ア)	1-2	◆目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 語句の意味に注意しながら音読し、古典のリズムを味わう。 →■二次元コード■ ・冒頭部分を音読する。 ・「敦盛の最期」の背景を確認する。 ・登場人物の特徴を捉える。 ・人物の様子を思い描きながら朗読する。	<b>知・技</b> ①作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しんでいる。((3)ア) ②現代語訳や語注などを手がかりに作品を読むことを通して、古典に表れたものの見方や考え方を知っている。((3)イ)	詩歌や小説などを読み、引用して解説したり、考えたことなどを伝え合ったりする。(Cイ)
			3-4	2 場面や状況を捉え、登場人物の行動や心情について考えを共有する。 ・大將軍(敦盛)を見つけたときの熊谷の気持ちについて話し合う。 ・敦盛を助けたいという熊谷の心情と、状況を捉え、話し合う。 ・味方の軍勢が駆けつけてくるのに気づいたときの熊谷の心情について話し合う。 ・物語の展開の仕方やその効果について考える。 → <b>読み方を学ぼう⑤</b> 物語の転換点 ■二次元コード■	<b>思・判・表</b> ・「読むこと」において、 <u>観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や論理の展開、表現の効果について考えている。</u> (C工) <b>主</b> ・進んで文章の構成や論理の展開などを捉え、学習課題にそって考えを伝え合おうとしている。	
			5	3 古典に表れたものの見方や考え方を捉え、自分の考えをまとめる。 ・「冒頭(祇園精舎)」と「敦盛の最期」とを読み直す。 ・冒頭部分で提示されたものの見方・考え方を確認する。 ・「敦盛の最期」で具体的に説明できるところをあげる。 ・自分の考えを文章にまとめる。 → <b>思考の方法[具体化する]</b> ◆目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。 〈学びを広げる〉 ・平家物語の世界を更に深く味わう。 → <b>資料編 読書の広場「那須与一」</b> → ■二次元コード■ 参考資料/デジタル漢字ドリル		

月	単元名	教材名【領域】 ●学習目標	時	主な学習活動	評価規準	学習指導要領 の言語活動例
		<b>漢詩の世界</b> <b>【読む(漢文)】</b>  <b>漢文の読み方</b> <b>漢詩の形式</b> 3時間  ◎漢詩の表現が、描かれた情景の中で果たす効果について考える。(Cエ) ○語句の意味に注意しながら音読し、漢詩の表現やリズムを捉える。(知・技(3)ア)	1	◆目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 漢詩の表現やリズムを捉え、読み味わう。 →■二次元コード■ ・語句の意味や構成などに注意して音読する。 ・漢詩の形式について確認する。 2 作者の状況を捉え、心情を想像する。 ・「春暁」について、作者の状況を捉え、心情を想像する。 ・「黄鶴楼にて……」について、作者の状況を捉え、心情を想像する。 ・「春望」について、作者の状況を捉え、心情を想像する。 3 描かれた情景を捉え、表現の効果を考える。 ・自然を表す表現の効果について考える。 ・考えたことを文章にまとめ、交流する。 ◆目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。 →■二次元コード■ 参考資料	<b>知・技</b> ①作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しんでいる。(3)ア) ②現代語訳や語注などを手がかりに作品を読むことを通して、古典に表れたものの見方や考え方を知っている。(3)イ)  <b>思・判・表</b> ・「読むこと」において、 <u>観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や論理の展開、表現の効果について考えている。</u> (Cエ)  <b>主</b> ・進んで文章の構成や表現の効果について考え、学習課題にそって考えたことを伝え合っている。	詩歌などを読み、引用して解説したり、考えたことなどを伝え合ったりする。(Cイ)
		<b>漢字のしくみ 1</b> <b>熟語の構成・熟字訓</b> 1時間  ◎熟語の構成・熟字訓について理解を深める。(知・技(1)ウ)	1	◆目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 二字熟語の構成の型を理解する。 2 熟字訓について理解を深める。 →資料編「常用漢字表付表」 3 「確かめよう」の課題に取り組む。 ◆目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。 →■二次元コード■ デジタル漢字ドリル	<b>知・技</b> ①第1学年までに学習した常用漢字に加え、 <u>その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を読んでいる。</u> ((1)ウ) ②抽象的な概念を表す語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)エ)  <b>主</b> ・進んで常用漢字について理解を深め、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	-
		<b>漢字を身につけよう⑤</b> 1時間  ◎常用漢字の読み・書きについて理解を深める。(知・技(1)ウ)	1	1 中学校で学習する漢字を読む。 2 中学校で新しく学習する読みを学ぶ。 →■二次元コード■	<b>知・技</b> ①第1学年までに学習した常用漢字に加え、 <u>その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。</u> ((1)ウ) ②抽象的な概念を表す語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)エ)  <b>主</b> ・進んで常用漢字について理解を深め、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	-

月	単元名	教材名【領域】 ●学習目標	時	主な学習活動	評価規準	学習指導要領 の言語活動例
11	6 情報 を 関 係 づ け る	マンガ 情報の扱い方 【読む(解説)】 1 時間 一〇〇年後の水を守る 【読む(論説)】 飲み水は不足しているか 【読む(論説)】 2 時間 水問題に関する資料 【読む(図表)】 1 時間 投稿文 複数の情報を関連づけて 根拠を明らかに示す 【書く】 5 時間  ◎文章と図表などを結びつけ て複数の情報を解釈する。 (Cイ・Cウ) ◎情報と情報との関係のさま ざまな表し方を理解し、伝 えたいことを明確にする。 (知・技(2)イ・Bア)	1	◆目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 本単元の目標と活動をつかみ、因果関係に注目することの大切さを理解する。 ・『水問題』って何？ 何が原因？」を読み、水問題について知っていることを話し合う。 ・教材に示された二人の生徒の発言を読み、因果関係に注目することの大切さを理解する。	知・技 ①情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。 (2イ) ②意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解することができる。(2ア) 思・判・表 ①「書くこと」において、目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、多様な方法で集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。(Bア) ②「書くこと」において、表現の工夫とその効果などについて、読み手からの助言などをふまえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだしている。(Bオ) ③「読むこと」において、目的に応じて複数の情報を整理しながら適切な情報を得て、内容を解釈している。(Cイ) ④「読むこと」において、文章と図表などを結びつけ、その関係をふまえて内容を解釈している。(Cウ) 圭 ・粘り強く情報の整理の仕方注意到内容を解釈し、学習課題にそって投稿文を書こうとしている。	多様な考え方ができる事柄について意見を述べるなど、自分の考えを書く。(Bア)  報告や解説などの文章を読み、理解したことや考えたことを説明したり文章にしたりする。(Cア)  本や新聞、インターネットなどから集めた情報を活用し、出典を明らかにしながら、考えたことを説明したり提案したりする活動。(Cウ)
2		2 資料A「一〇〇年後の水を守る」を読み、筆者の考える水不足の原因と対応策を捉える。 →■二次元コード■ デジタル漢字ドリル				
3		3 資料B「飲み水は不足しているか」を読み、筆者の考える水不足の原因を捉え、その対応策を解釈する。				
4		4 資料A・Bと資料C「水問題に関する資料」とを関連づけ、水問題についての考えを広げる。 ・資料Aと資料Bの学習を振り返り、両者が考える水問題の焦点やその原因の違いを整理する。 ・資料Cを読み、資料A・Bとも関連づけながら、水問題の現状や原因、対応策について考えを広げる。 →■二次元コード■ ・読み取ったことや調べたことをもとに、水問題について、自分の考えをまとめる。				
5		5 水問題に対する自分の考えを明確にし、原因や具体例、対応策の情報を集める。 ・資料A～Cの内容をふまえ、「水問題で最も重要な問題は〇〇だ」という見出しの一文を決める。 ・資料A～Cや、教科書 156 ページの二次元コードから、自分が選んだ問題の原因や具体例、対応策に関する情報を集める。 →■二次元コード■				
6		6 投稿文の構成や効果的な書き方を学ぶ。				
7-8		7 学んだ構成や書き方を生かして、投稿文を書く。 →資料編「著作権と引用」				
9		8 投稿文を交流し、学習の成果を振り返る。 ◆目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。				

月	単元名	教材名【領域】 ●学習目標	時	主な学習活動	評価規準	学習指導要領 の言語活動例
		<b>文法の窓 2</b> <b>助詞・助動詞のはたらき</b> 3 時間  ◎助詞・助動詞のはたらきや文の構成について理解する。(知・技(1)オ)	1-3	◆目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 「文法の窓 2」で助詞・助動詞の特徴について考える。 2 「文法のまとめ」「2 助詞・助動詞のはたらき」で、助詞・助動詞のはたらきや種類について理解する。 3 「文法のまとめ」「3 文の成分の順序と照応」で、文の成分の順序や照応について理解する。 4 「文法のまとめ」「4 文の種類」で、単文、複文、重文の特徴について理解する。 5 「確認しよう 練習問題 2」の課題に取り組む。→■二次元コード■ ◆目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	<b>知・技</b> ・助詞や助動詞などのはたらき、 <u>文の成分の順序や照応など文の構成について理解している。</u> ((1)オ) <b>主</b> ・進んで助詞や助動詞などのはたらきや文の構成について理解し、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	-
		<b>漢字を身につけよう⑥</b> 1 時間  ◎常用漢字の読み・書きについて理解を深める。(知・技(1)ウ)	1	1 中学校で学習する漢字を読む。 2 中学校で新しく学習する読みを学ぶ。 →■二次元コード■	<b>知・技</b> ①第 1 学年までに学習した常用漢字に加え、 <u>その他の常用漢字のうち 350 字程度から 450 字程度までの漢字を読んでいる。</u> また、 <u>学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。</u> ((1)ウ) ②抽象的な概念を表す語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)エ) <b>主</b> ・進んで常用漢字について理解を深め、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	-
12	7 読みを深め合う	<b>大阿蘇</b> <b>【読む(詩)】</b> 2 時間  ◎詩の表現技法とその効果を理解し、描かれた情景を読み取る。(Cエ) ○眼前に展開する自然の姿を捉え、想像豊かに朗読する。(Cオ)	1	◆目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 描かれた情景を想像して音読し、眼前に展開する自然の姿を捉える。 ・繰り返されている言葉や言い換えられている言葉に着目して音読する。 ・音や色、動きや広がりを感じ浮かべながら、描かれた情景を捉える。 2 2 詩の表現技法とその効果を理解し、想像豊かに朗読する。 ・この詩の情景にふさわしい読み方について考えたことを交流する。 →思考の方法[理由づける] ・交流を生かして朗読する。 ・詩の表現を比べながら、この詩について考えたことを書く。 ◆目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	<b>知・技</b> ・類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)エ) <b>思・判・表</b> ①「読むこと」において、 <u>文章の構成や表現の効果について考えている。</u> (Cエ) ②「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりしている。(Cオ) <b>主</b> ・進んで表現の効果について考え、学習課題にそって考えを伝え合おうとしている。	詩歌を読み、考えたことなどを伝え合う。(Cイ)

月	単元名	教材名【領域】 ●学習目標	時	主な学習活動	評価規準	学習指導要領 の言語活動例
		<b>言葉発見 4</b> <b>類義語・対義語、多義語</b> 1時間 ◎類義語・対義語、多義語について理解する。(知・技 (1)エ)	1	◆目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 類義語・対義語について理解する。 2 多義語について理解する。 3 「確かめよう」の課題に取り組む。 ◆目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	<b>知・技</b> ・類義語と対義語、多義的な意味を表す語句などについて理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)エ <b>主</b> ・進んで類義語と対義語、多義的な意味を表す語句などについて理解し、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	-
		<b>小さな手袋</b> <b>【読む(小説)】</b> <b>読み方を学ぼう⑥ 象徴</b> 4時間 ◎主人公の言動に着目し、その意図や心情を読み深める。(Cイ) ○登場人物の人物像と相互関係を捉える。(Cア)	1	◆目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 作品の設定と時間の流れを捉える。 ・本文を通読し、全体の内容を捉える。 ・作品中の時間の流れを確認し、場面ごとにできごとを整理する。 →思考の方法【順序立てる】	<b>知・技</b> ・情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。(2)イ <b>思・判・表</b> ①「読むこと」において、登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈している。(Cイ) ②「読むこと」において、文章全体と部分との関係に注意しながら、登場人物の設定の仕方などを捉えている。(Cア) <b>主</b> ・進んで登場人物の言動の意味などについて考え、学習課題にそって考えを伝え合おうとしている。	小説を読み、引用して解説したり、考えたことなどを伝え合ったりする。(Cイ)
			2	2 登場人物の人物像と相互関係を捉える。 ・シホと「おばあさん」の人物像を捉える。 ・「おばあさん」にとってシホはどのような存在だったかを考える。		
			3	3 登場人物の心情について考える。 ・シホが「おばあさん」に会いに行かなくなった理由を考え、話し合う。 ・小さな手袋に対するシホと「おばあさん」の思いをそれぞれ捉える。 →読み方を学ぼう⑥ 象徴 ■二次元コード■		
			4	4 主人公の言動に着目し、その意図や心情を読み深める。 ・シホの言動の意味や心情について考える。 ・考えたことを書いて交流する。 ◆目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。 →■二次元コード■ デジタル漢字ドリル  〈学びを広げる〉 →書く「創作文」へ ・登場人物の誰かになって、別の人物に宛てた手紙を書く。		

月	単元名	教材名【領域】 ●学習目標	時	主な学習活動	評価規準	学習指導要領 の言語活動例
		<b>創作文</b> <b>読みたくなるしくみを工夫する</b> <b>【書く】</b> 5時間 ◎作品の魅力や特徴が効果的に伝わるように、展開や描写などを工夫して書く。(Bイ) ○作品を読み合い、表現の工夫やもとの作品の生かし方などについて意見を交流し、自分の考えを広げる。(Bオ)	1	◆目標と学習の流れを確認し、学習の見通しをもつ。 1 創作のもとにする作品と創作コースを選ぶ。 ・創作のもとにする作品を決める。 ・もとの作品の特徴を考えながら、創作コースを選ぶ。	<b>知・技</b> ・抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)エ) <b>思・判・表</b> <b>①「書くこと」において、伝えたいことがわかりやすく伝わるように、段落相互の関係などを明確にし、文章の構成や展開を工夫している。(Bイ)</b> <b>②「書くこと」において、表現の工夫とその効果などについて、読み手からの助言などをふまえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだしている。(Bオ)</b> <b>主</b> ・粘り強く文章の構成や展開を工夫し、学習の見通しをもって感じたことや想像したことを書こうとしている。	物語を創作するなど、感じたことや想像したことを書く。(Bウ)
2	2 作品の魅力や特徴について研究する。 ・もとにする作品の内容や構成・設定・表現など、読みたくなるしくみを分析する。					
3-4	3 作品の特徴や魅力が伝わるように創作する。 ・構想を練り、読者をひきつける表現の工夫を考える。 → <b>思考の方法【仮定する】</b> ・どの部分を作るかを定める。 ・下書きをし、読者の視点で読み返して修正・改良する。 → <b>■二次元コード■</b>					
5	4 作品を発表し、意見交流を通して考えを広げる。 ・書きあげた作品をグループやクラスで読み合う。 ・もとになった作品の特徴が生かされているところ、新しく加えた発想、表現の工夫などを見つけ合って、楽しむ。 ◆目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。					
		<b>読書活動</b> <b>ビブリオバトル</b> <b>【話す・聞く】</b> 3時間 ◎本には、さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かす。(知・技(3)エ) ○自分の考えが明確になるように、話の構成を工夫する。(Aイ)	1	◆目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 話の構成を工夫して、紹介する内容をまとめる。 ・これまでに自分が読んだことのある本の中から、ビブリオバトルで紹介したい本を選ぶ。 →資料編 読書の広場「小さな図書館」 → <b>■二次元コード■</b> ・聞いた人に本の魅力が伝わるように話の構成を工夫して、5分で紹介できるようにまとめる。	<b>知・技</b> ・本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かしている。((3)エ) <b>思・判・表</b> <b>①「話すこと・聞くこと」において、自分の立場や考えが明確になるように、根拠の適切さや論理の展開などに注意して、話の構成を工夫している。(Aイ)</b> <b>②「話すこと・聞くこと」において、異なる立場や考えを想定しながら集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討している。(Aア)</b> <b>主</b> ・積極的に話の構成を工夫し、学習の見通しをもって提案しようとしている。	説明や提案など伝えたいことを話したり、それらを聞いて質問や助言などをしたりする。(Aア)
2-3	2 ビブリオバトルを行う。 ・順番に一人5分間で本を紹介する。 ・発表ごとに、その発表に関するディスカッションを2～3分で行う。 ・「どの本がいちばん読みたくなったか」を基準とした投票を行う。 ◆目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。					

月	単元名	教材名【領域】 ●学習目標	時	主な学習活動	評価規準	学習指導要領 の言語活動例
		漢字を身につけよう⑦ 1 時間 ◎常用漢字の読み・書きについて理解を深める。(知・技(1)ウ)	1	1 中学校で学習する漢字を読む。 2 中学校で新しく学習する読みを学ぶ。 →■二次元コード■	知・技 ①第 1 学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち 350 字程度から 450 字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。(1)ウ) ②抽象的な概念を表す語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)エ) 主 ・進んで常用漢字について理解を深め、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	-
1	8 視野を広げる	動物園でできること 【読む(論説)】 読み方を学ぼう⑦ 例示 5 時間 ◎文章の全体と部分との関係や、主張と例示との関係に注意して、筆者の主張を捉える。(Cア) ◎動物園に関する筆者の主張について、知識や経験と結びつけて自分の考えを深める。(Cオ)	1 2-3 4 5	◆目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 文章全体の構成と要旨を捉える。 ・本文を通読し、全体の構成を捉える。 ・動物園の「四つの大きな役割」についてまとめる。 2 「学びの場」としての動物園の取り組みについて、本文の内容を整理する。 ・本文で示されている三つの事例について確認する。 ・三つの事例を「楽しみの場」と「学びの場」の両面から捉え、要約する。 →思考の方法[分類する] ・三つの事例の例示の順番とその効果について考える。 ・立場を明確にして、例示の順序について考えを話し合う。 3 主張と例示の関係に注意して、筆者の主張を捉える。 ・表現の工夫と、その効果について考える。 ・筆者の主張を具体的な事例と結びつけて、自分の言葉で説明する。 →読み方を学ぼう⑦ 例示 ■二次元コード■ 4 筆者の主張について、自分の考えを深める。 ・筆者の主張について、自分の知識や経験と関連づけて考えたことをまとめる。 ・考えたことを交流する。 ◆目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。 →■二次元コード■ デジタル漢字ドリル  <学びを広げる> →⑦書く「論説文」へ ・「動物園の動物は、自然に帰すべきだ。」という意見について、600 字～800 字の論説文を書く。	知・技 ・意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。(2)ア) 思・判・表 ①「読むこと」において、文章全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示との関係などを捉えている。(Cア) ②「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりしている。(Cオ) 主 ・進んで主張と例示との関係などを捉え、学習課題にそって理解したことを説明しようとしている。	解説の文章を読み、理解したことや考えたことを説明したり文章にまとめたりする。(Cア)

月	単元名	教材名【領域】 ●学習目標	時	主な学習活動	評価規準	学習指導要領 の言語活動例
		<b>論説文</b> <b>構成を工夫して</b> <b>考えを伝える</b> <b>【書く】</b>  6 時間 ◎伝えたい事柄がわかりやすく伝わるように、 <b>文章の構成や展開を工夫して書く。</b> (Bイ) ◎根拠の適切さや表現の効果を考えて説得力のある文章を書く。(Bウ)	1-2  3-4  5-6	◆目標と学習の流れを確認し、学習の見通しをもつ。 1 課題について、自分の考えをまとめる。 ・例を参考にして、取り上げる課題を決める。 ・課題について、自分の結論や主張を一文か二文で書く。 ・理由づけを明確にして、三角ロジックの形で書き出す。 2 伝えたい事柄がわかりやすく伝わるように、文章の構成や展開を工夫する。 ・主張に対して、予想される反論や、反論への対応などを考える。 ・基本となる文章の構成や展開を決める。 3 根拠の適切さや表現の効果を考えて説得力のある文章を書き、読み合う。 ・600 字～800 字程度の論説文を書く。 ・読み手の立場に立って、文章を整える。 →■二次元コード■ ・完成した論説文を読み合う。 ・内容や構成について、よかったところや改善点などを伝え合う。 ◆目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	<b>知・技</b> ①話や文章の構成や展開について理解を深めている。((1)オ) ②意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。((2)ア) <b>思・判・表</b> ①「書くこと」において、 <u>伝えたいことがわかりやすく伝わるように、段落相互の関係などを明確にし、文章の構成や展開を工夫している。</u> (Bイ) ②「書くこと」において、 <u>根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果をj考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。</u> (Bウ) <b>主</b> ・粘り強く自分の考えが伝わるように工夫し、学習の見通しをもって自分の考えを書こうとしている。	多様な考えができる事柄について意見を述べるなど、自分の考えを書く。(Bア)
		<b>漢字のしくみ 2</b> <b>熟語の読み</b>  1 時間 ◎熟語の読みについて理解を深める。(知・技(1)ウ)	1	◆目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 熟語の読みを音と訓の組み合わせのパターンから分類的に理解する。 2 同音異義語について理解する。 3 「確かめよう」の課題に取り組む。 ◆目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。 →■二次元コード■ デジタル漢字ドリル	<b>知・技</b> ① <u>第 1 学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち 350 字程度から 450 字程度までの漢字を読んでいる。</u> ((1)ウ) ②抽象的な概念を表す語句の量を増し、同音異義語などについて理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)エ) <b>主</b> ・進んで常用漢字について理解を深め、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	-
		<b>漢字を身につけよう⑧</b>  1 時間 ◎常用漢字の読み・書きについて理解を深める。(知・技(1)ウ)	1	1 中学校で学習する漢字を読む。 2 中学校で新しく学習する読みを学ぶ。 →■二次元コード■	<b>知・技</b> ① <u>第 1 学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち 350 字程度から 450 字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。</u> ((1)ウ) ②抽象的な概念を表す語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)エ) <b>主</b> ・進んで常用漢字について理解を深め、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	-

月	単元名	教材名【領域】 ●学習目標	時	主な学習活動	評価規準	学習指導要領 の言語活動例
2	9 振り返って見つめる	<b>走れメロス</b> <b>【読む(小説)】</b> <b>読み方を学ぼう⑧</b> <b>心情把握</b>  コラム 「走れメロス」と シラーの「人質」 コラム 太宰治の世界 5時間  ◎文章の構成や展開に即して人物の心情を捉え、表現の効果について考える。(Cエ) ◎登場人物の人物像について、自分の考えを広げたり深めたりする。(Cオ)	1-2	◆目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 人物設定と物語の展開を捉える。 ・本文を通読し、全体の内容を捉える。 ・メロスとディオニスの人物設定を捉える。 ・メロスが出会った困難を箇条書きで整理する。	<b>知・技</b> ・意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。((2)ア) <b>思・判・表</b> ①「読むこと」において、文章の構成や表現の効果について考えている。(Cエ) ②「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりしている。(Cオ)	小説を読み、引用して解説したり、考えたことなどを伝え合ったりする。(Cイ)
		◎登場人物の人物像について、自分の考えを広げたり深めたりする。(Cオ)	3	2 場面の展開に即して人物の心情を捉え、表現の効果について考える。 ・メロスの心情の変化を捉える。 → <b>読み方を学ぼう⑧</b> 心情把握 ■二次元コード■ ・心情を表す表現の効果について考える。	<b>主</b> ・進んで表現の効果について考え、自分の考えを広げたり深めたりして、学習課題にそって考えを伝え合おうとしている。	
		<b>漢字を身につけよう⑨</b> 1時間  ◎常用漢字の読み・書きについて理解を深める。(知・技(1)ウ)	1	1 中学校で学習する漢字を読む。 2 中学校で新しく学習する読みを学ぶ。 → ■二次元コード■	<b>知・技</b> ①第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。((1)ウ) ②抽象的な概念を表す語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)エ) <b>主</b> ・進んで常用漢字について理解を深め、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	-

月	単元名	教材名【領域】 ●学習目標	時	主な学習活動	評価規準	学習指導要領 の言語活動例
3		<b>情報誌</b> <b>地域の魅力を振り返って</b> <b>【話す・聞く】</b> 3時間 <b>【書く】</b> 5時間 ◎集めた材料を整理し、伝える内容を検討するために編集会議を開き、話し合っ て考えをまとめる。(Aア) ◎地域の特色などについて、取材や調査で集めた情報を、効果的な表現になるように工夫して文章を整える。(Bエ)	1-2  3-4  5-8	◆目標と学習の流れを確認し、学習の見通しをもつ。 1 編集会議を開き、企画を立てる。 ・テーマ別にグループを編成する。 ・グループごとに編集会議を行って、企画書をまとめる。 2 情報収集を行い、レイアウトを決める。 ・情報収集の計画を立てる。 ・記事を書くための調査や取材、資料や図版の収集、原稿依頼などを行う。 ・収集した情報をもとに、編集会議を開き、レイアウトを決める。 3 記事を書いて誌面を作り、発表会を開く。 ・レイアウトに従って、分担して記事を書く。 ・記事が完成したら、表紙と編集後記を作成する。 ・印刷する前に、全てのページを読み合っ て推敲する。 ・印刷・製本した雑誌を用いて、クラスで発表会を開く。 →資料編「手紙・はがき・メールの書き方」 ◆目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	<b>知・技</b> ①意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。(2ア) ②情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。(2イ) <b>思・判・表</b> ①「話すこと・聞くこと」において、異なる立場や考えを想定しながら集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討している。(Aア) ②「書くこと」において、読み手の立場に立って、表現の効果などを確かめて、文章を整えている。(Bエ) <b>主</b> ・積極的に伝え合う内容を検討し、粘り強く表現の効果などを確かめ、学習の見通しをもって情報誌を作ろうとしている。	それぞれの立場から考えを伝えるなどして、議論や討論をする。(Aイ) 多様な考えができる事柄について意見を述べるなど、自分の考えを書く。(Bア)
		<b>歌の言葉</b> <b>宿命</b>	-	-	-	-

令和7年度版『現代の国語』年間学習指導計画例

3年

月	単元名	教材名【領域】 ●学習目標	時	主な学習活動	評価規準	学習指導要領 の言語活動例
4	1 豊かに想像する	<b>言の森</b> <b>【読む(詩)】</b>  <b>コラム</b> <b>ワードハンティング</b> 2時間  ◎詩に表れているものの見方や考え方について考える。(Cイ) ○詩にこめられた作者の思いを捉え、言語生活について自分の意見をもつ。(Cエ)	1	◆目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 詩に描かれた情景を読み取り、内容を理解する。 ・表現技法を意識しながら音読する。 ・詩に描かれた情景を読み取る。	<b>知・技</b> ・具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。(2)ア) <b>思・判・表</b> ①「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。(Cイ) ②「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。(Cエ) <b>主</b> ・進んで文章に表れているものの見方や考え方を捉え、学習課題にそって考えを伝え合おうとしている。	詩歌を読み、考えたことなどを伝え合う。(Cイ)
		2	2 詩にこめられた作者の思いを捉え、自分の意見をもつ。 ・「言の森」とは、どのようなものかを考え、発表する。 ・作者の思いを捉え、自分の言語生活を振り返りながら話し合う。 →思考の方法【理由づける】 ◆目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。			
		<b>握手</b> <b>【読む(小説)】</b>  <b>読み方を学ぼう ① 回想</b> 4時間  ◎回想する語り手の思いを捉え、それに基づいて自分の考えをもつ。(Cア) ○小説の構成や場面の展開を捉え、その効果を評価する。(Cウ)	1	◆目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 小説の構成や場面の展開を捉える。 →■二次元コード■ ・本文を通読する。 ・時間を観点にして本文をくぎり、構成を捉える。 →読み方を学ぼう① 回想 ■二次元コード■	<b>知・技</b> ・理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)イ) <b>思・判・表</b> ①「読むこと」において、文章の種類をふまえて、物語の展開の仕方などを捉えている。(Cア) ②「読むこと」において、文章の構成や表現の仕方について評価している。(Cウ) <b>主</b> ・進んで物語の展開の仕方などを捉え、学習課題にそって批評しようとしている。	小説を読み、批評したり、考えたことなどを伝え合ったりする。(Cイ)
2	2 登場人物のしぐさに着目して、心情を捉える。 ・ルロイ修道士の特徴的なしぐさとその意味を捉える。 ・握手の仕方に着目して、ルロイ修道士の変化を整理する。 →思考の方法【比較する】					
3	3 回想する語り手の思いを捉え、自分の考えをもつ。 ・ルロイ修道士が病気ではないかと感じた「私」の言動について考えを交流する。 ・最後の場面の「私」の心情を考える。					
4	4 小説の構成や場面の展開の効果を評価する。 ・最後の場面から感じたことを交流する。 ・最後の場面の効果を考える。 ◆目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。 →■二次元コード■ デジタル漢字ドリル					

月	単元名	教材名【領域】 ●学習目標	時	主な学習活動	評価規準	学習指導要領 の言語活動例
		<b>言葉発見 1</b> <b>敬語のはたらき</b> 1 時間 ◎敬語などの相手や場に応じた言葉遣いを理解し、適切に使う。(知・技(1)エ)	1	◆目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 状況に合わせてふさわしい敬語を用いることを理解する。 →■二次元コード■ 2 敬語のさまざまなはたらきについて理解する。 3 敬語を使わずに気配りを表す方法について理解する。 4 「確かめよう」の課題に取り組む。 ◆目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	<b>知・技</b> ・敬語などの相手や場に応じた言葉遣いを理解し、適切に使っている。((1)エ) <b>主</b> ・進んで敬語などの相手や場に応じた言葉遣いについて理解を深め、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	-
5		<b>グループディスカッション</b> <b>合意形成に向けて</b> <b>話し合いを計画的に進める</b> <b>【話す・聞く】</b> 4 時間 ◎話し合いを計画的に進行するための方法を理解し、活用する。(Aオ) ○話の展開を予測しながら聞き、自分の考えを広げたり深めたりする。(Aエ)	1	◆目標と学習の流れを確認し、学習の見通しをもつ。 1 話し合いを計画的に進行するための方法を理解する。 ・話し合い記録から、「話し合いのこつ」を見つける。 ・「話し合いのこつ」のはたらきや効果について考える。 →■二次元コード■ 2 話し合いを計画的に進行するための方法を、グループディスカッションで活用する。 ・「話し合いのこつ」を活用して、グループディスカッションを行う。 ・効果的な発言とその効果を、発言メモにまとめる。 3-4 3 話の展開を予測しながら聞き、自分の考えをまとめる。 ・発言メモをもとに、グループディスカッションを振り返る。 ・特に効果的だった発言や、「話し合いのこつ」について交流する。 ◆目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。 →■二次元コード■ 参考資料	<b>知・技</b> ・具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。((2)ア) <b>思・判・表</b> ①「話すこと・聞くこと」において、 <u>進行の仕方を工夫したり互いの発言を生かしたりしながら話し合い、合意形成に向けて考えを広げたり深めたりしている。(Aオ)</u> ②「話すこと・聞くこと」において、話の展開を予測しながら聞き、聞き取った内容や表現の仕方を評価して、自分の考えを広げたり深めたりしている。(Aエ) <b>主</b> ・積極的に進行の仕方を工夫しながら、学習の見通しをもって議論や討論をしようとしている。	互いの考えを生かしながら議論や討論をする。(Aイ)
		<b>漢字を身につけよう①</b> 1 時間 ◎常用漢字の読み・書きについて理解を深める。(知・技(1)ア)	1	1 中学校で学習する漢字を読む。 2 中学校で新しく学習する読みを学ぶ。 →■二次元コード■	<b>知・技</b> ①第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れている。((1)ア) ②理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)イ) <b>主</b> ・進んで常用漢字について理解を深め、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	-

月	単元名	教材名【領域】 ●学習目標	時	主な学習活動	評価規準	学習指導要領 の言語活動例
6	2 わかりやすく伝える	読み方を学ぼう② 批判的な読み 「批判的に読む」とは 【読む(論説)】 1時間 ◎批判的に読む方法について理解する。(Cウ)	1	◆目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 批判的に読む方法について理解し、文章の構成や表現の仕方について評価する。 ・本文を通読し、内容を捉える。 ・批判的に読むための3つのポイントを捉える。 ◆目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。 →■二次元コード■	(※「間の文化」と合わせて評価する。)	-
		間の文化 【読む(論説)】 3時間 ◎文章の構成や論理の展開の仕方を捉え、評価する。(Cウ) ○「間」や「和」を観点にして、日本文化についての自分の考えを深める。(Cイ)	1	◆目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 文章の構成や論理の展開の仕方を捉える。 ・本文を通読し、内容を捉える。 ・「間」について、それぞれの特徴をまとめる。 ・「和はこの間があって初めて成り立つ」と筆者が述べる理由をまとめる。 2 文章の構成や論理の展開の仕方を評価する。 ・「掙」という言葉が用いられていることを効果を考える。 ・「空間的」「時間的」「心理的」の順序で示されている効果を考える。 →思考の方法[順序立てる] 3 「間」や「和」を観点にして、日本文化についての自分の考えを深める。 ・筆者の主張について、自分の意見をまとめる。 →読み方を学ぼう② 批判的な読み ・まとめた意見を発表し、交流する。 ◆目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。 →■二次元コード■ デジタル漢字ドリル	知・技 ・具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。(2)ア 思・判・表 ①「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価している。(Cウ) ②「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。(Cイ) 主 ・進んで文章の構成や表現の仕方について評価し、学習課題にそって考えをまとめようとしている。	論説や報道などの文章を比較するなどして読み、理解したことや考えたことについて文章にまとめる。(Cア)
		課題作文 条件に応じて 説得力のある文章を書く 【書く】 5時間 ◎条件に応じて表現を考えたとき、資料を適切に引用したりして、自分の考えが伝わるように工夫する。(Bウ) ○文章全体を読み直し、目的や意図に応じた表現になっているかを確認して推敲する。(Bエ)	1-2	◆目標と学習の流れを確認し、学習の見通しをもつ。 1 課題について、自分の考えをまとめる。 ・課題を読み、条件を確かめる。 ・図表から読み取れることをメモする。 ・メモに感想などを加えて、自分の考えを一つの文に表す。 →思考の方法[関連づける] 3 2 自分の考えが伝わるように工夫して、課題作文を書く。 ・条件に従って、各段落の内容をまとめる。 ・図表に書かれていることを適切に引用して、課題作文を書く。 4 3 交流を通して、推敲する箇所を見つける。 ・書いた作文を読み合い、感想を伝え合う。 ・推敲の観点を明確にして、推敲する箇所を見つける。 5 4 交流を生かして推敲する。 ・自分の文章を読み返し、交流を生かして推敲する。 ◆目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	知・技 ・具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。(2)ア 思・判・表 ①「書くこと」において、表現の仕方を考えたり資料を適切に引用したりするなど、自分の考えがわかりやすく伝わる文章になるように工夫している。(Bウ) ②「書くこと」において、目的や意図に応じた表現になっているかなどを確認して、文章全体を整えている。(Bエ) 主 ・粘り強く自分の考えが伝わるように工夫し、学習の見通しをもって自分の考えを書こうとしている。	関心のある事柄について批評するなど、自分の考えを書く。(Bア)

月	単元名	教材名【領域】 ●学習目標	時	主な学習活動	評価規準	学習指導要領 の言語活動例
		漢字を身につけよう② 1時間 ◎常用漢字の読み・書きについて理解を深める。(知・技(1)ア)	1	1 中学校で学習する漢字を読む。 2 中学校で新しく学習する読みを学ぶ。 →■二次元コード■	知・技 ①第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れている。((1)ア) ②理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。 (1)イ 主 ・進んで常用漢字について理解を深め、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	-
7	3 ものの見方・感性を養う	俳句の世界／俳句十句【読む(解説/俳句)】 読み方を学ぼう③ 省略 コラム 夏井いつきの赤ペン俳句教室 3時間 ◎俳句のきまりや表現の特徴をもとに、俳句についての理解を深める。(Cウ) ○語句に注意して情景を豊かに想像し、俳句を読み味わう。(Cエ)	1	◆目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 俳句のきまりや表現の特徴をもとに、俳句についての理解を深める。 ・「俳句の世界」を読み、俳句の特徴を書き出す。 →読み方を学ぼう③ 省略 ■二次元コード■ ・「俳句十句」について、情景を想像しながら音読する。 2 2 語句に注意して情景や心情を捉え、俳句を読み味わう。 ・印象に残った俳句を選び、詠まれた情景や心情をまとめる。 ・選んだ俳句の表現の工夫や効果について考える。 3 3 表現の工夫や効果をふまえて俳句の魅力を伝え合う。 ・選んだ俳句の魅力について考えたことをまとめる。 ・まとめた意見を発表し、交流する。 →思考の方法[具体化する] ◆目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。 →■二次元コード■ 解説動画／参考資料／デジタル漢字ドリル  (学びを広げる) →書く「批評文」へ ・「俳句十句」の中から印象に残った句を選び、批評文を書く。	知・技 ・具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。((2)ア) 思・判・表 ①「読むこと」において、文章の構成や表現の仕方について評価している。(Cウ) ②「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。(Cエ) 主 ・進んで文章の構成や表現の仕方について評価し、学習課題にそって批評しようとしている。	詩歌などを読み、批評したり、考えたことなどを伝え合ったりする。 (Cイ)

月	単元名	教材名【領域】 ●学習目標	時	主な学習活動	評価規準	学習指導要領 の言語活動例
		<b>批評文</b> <b>観察・分析を通して</b> <b>評価する</b> <b>【書く】</b> 6 時間 ◎読み手を説得できるような論理の展開を考え、構成を工夫して書く。(Bイ) ◎論理の展開や表現の仕方・工夫などについて意見を交流し、自分の文章のよい点や改善点を見いだす。(Bオ)	1 2-3 4-5 6	◆目標と学習の流れを確認し、学習の見通しをもつ。 1 社会生活の中から批評の対象を決める。 ・生活の中で出会ったことや、新聞・書籍などで見聞きしたことから、興味をもった物事を集める。 ・集めたものの中から、批評の対象を決める。 2 対象となる物事を観察・分析する。 ・対象となる物事を観察・調査する。 ・観察・調査して得られた情報を分析する。 →思考の方法【仮定する】 3 読み手を説得できるように構成を工夫して批評文を書く。 ・分析した結果をもとに、結論をまとめる。 ・結論を導くために説得力のある論理の展開を考える。 ・構成を工夫して批評文を書く。 →■二次元コード■ 4 論理の展開や表現の仕方について意見を交流する。 ・書いた批評文を読み合う。 ・それぞれの文章のよい点や改善点などを見つけ、意見を交流する。 ◆目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	<b>知・技</b> ・具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。(2)ア) <b>思・判・表</b> ①「書くこと」において、文章の種類を選択し、多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて、文章の構成を工夫している。(Bイ) ②「書くこと」において、論理の展開などについて、読み手からの助言などをふまえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだしている。(Bオ) <b>主</b> ・粘り強く論理の展開を考え、自分の文章のよい点や改善点を見だし、学習の見通しをもって批評しようとしている。	関心のある事柄について批評するなど、自分の考えを書く。(Bア)
		<b>言葉発見 2</b> <b>和語・漢語・外来語</b> 1 時間 ◎和語・漢語・外来語について理解を深める。(知・技(1)イ)	1	◆目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 和語・漢語・外来語の定義、混種語について理解する。 2 語種の使い分けについて理解を深め、語感を磨く。 3 「確かめよう」の課題に取り組む。 ◆目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	<b>知・技</b> ・理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、和語、漢語、外来語などを使い分けることを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)イ) <b>主</b> ・進んで和語、漢語、外来語などを使い分けることを通して語感を磨き、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	-

月	単元名	教材名【領域】 ●学習目標	時	主な学習活動	評価規準	学習指導要領 の言語活動例
		<b>海を越えた故郷の味</b> <b>【読む(随想)】</b> 2時間 ◎人間や社会について思いをめぐらせ、自分の考えをもつ。(Cエ) ○話題とそれに対する筆者の見方に着目して内容を読み取り、筆者の思いを捉える。(Cイ)	1	◆目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 筆者の思いを捉える。 ・本文を通読し、内容を捉える。 ・筆者の涙が止まらなくなった理由について考える。 ・筆者は「故郷の味」をどのようなものと捉えているか考え、話し合う。 →思考の方法【具体化する】	<b>知・技</b> ・具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。((2)ア) <b>思・判・表</b> ①「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。(Cエ) ②「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。(Cイ)	論説や報道などの文章を比較するなどして読み、理解したことや考えたことについて討論する。(Cア)
		<b>私の読書体験</b> <b>言葉は傘</b> <b>【読む】</b> 1時間 ◎自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解し、読書を通して考えを広げたり深めたりする。(知・技(3)オ、Cエ)	1	◆目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 教材文を読み、感想を交流する。 ・本文を通読して、内容を捉える。 ・感じたことや考えたことを交流する。 ・学校図書館などで本を選んで読むことへつなげる。 →資料編 読書の広場「小さな図書館」 →■二次元コード■ ◆目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	<b>知・技</b> ・自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。((3)オ) <b>思・判・表</b> ・「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。(Cエ) <b>主</b> ・進んで人間、社会、自然などについて自分の意見を持ち、学習したことの実生活への生かし方を考えている。	実用的な文章を読み、実生活への生かし方を考える。(Cウ)
		<b>漢字を身につけよう③</b> 1時間 ◎常用漢字の読み・書きについて理解を深める。(知・技(1)ア)	1	1 中学校で学習する漢字を読む。 2 中学校で新しく学習する読みを学ぶ。 →■二次元コード■	<b>知・技</b> ①第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読んでみる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れている。((1)ア) ②理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)イ) <b>主</b> ・進んで常用漢字について理解を深め、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	-

月	単元名	教材名【領域】 ●学習目標	時	主な学習活動	評価規準	学習指導要領 の言語活動例
9	4 論理的に考える	<p>フロン規制の物語 ——〈杞憂〉と〈転ばぬ先の杖〉のはざままで 【読む(論説)】</p> <p>読み方を学ぼう④ 具体と抽象 4時間</p> <p>◎文章を批判的に読み、筆者のものの見方や考え方を捉える。(Cイ) ○フロンに対する筆者の主張を捉え、科学と社会との関係について自分の考えを広げる。(Cエ)</p>	1	<p>◆目標を確認し、学習の見通しをもつ。</p> <p>1 文章全体の構成と概要を捉える。 ・本文を通読し、内容を捉える。 ・フロン<sup>①</sup>の性質を箇条書きで列挙する。</p> <p>2 異なる立場の説明を読み比べ、筆者のものの見方や考え方を捉える。 ・具体と抽象に着目して、本文の内容をまとめる。 →読み方を学ぼう④ 具体と抽象 ■二次元コード■ ・「あなた」という言葉が使われていることの効果を考える。 ・フロン規制に向けた議論を整理する。</p> <p>3 文章を批判的に読む。 ・「科学的な思考力」と「柔軟な想像力」とはどのようなものか、まとめる。 ・なぜそれらを「ともに」学んでいく必要があるのか、考える。 ・筆者の主張の根拠を検証し、文章を批判的に読む。</p> <p>4 社会と科学の関係について自分の考えを広げる。 ・身のまわりから、本文の内容にあてはまる例を探す。 ・探した例をもとに、社会と科学との関係について話し合う。 →思考の方法【分類する】 ◆目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。 →■二次元コード■ デジタル漢字ドリル</p>	<p>知・技</p> <p>・具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。(2ア)</p> <p>思・判・表</p> <p>①「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方にについて考えている。(Cイ)</p> <p>②「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。(Cエ)</p> <p>主</p> <p>・進んで文章を批判的に読み、学習課題にそって考えをまとめている。</p>	<p>説明や記録などの文章を読み、理解したことや考えたことを文章にまとめる。(Cア)</p>
		<p>文法の窓 表現につながる文法 2時間</p> <p>◎言葉の選び方による伝わり方や与える印象などの違いについて理解を深める。(知・技(1)ウ)</p>	1-2	<p>◆目標を確認し、学習の見通しをもつ。</p> <p>1 「文法の窓」で語句の選択による表現の違いについて考える。</p> <p>2 「文法のまとめ」「表現につながる文法」について理解を深める。</p> <p>3 「確認しよう」の課題に取り組む。 →■二次元コード■ ◆目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。</p>	<p>知・技</p> <p>・話や文章の種類とその特徴について理解を深めている。((1)ウ)</p> <p>主</p> <p>・進んで話や文章の種類とその特徴について理解を深め、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。</p>	-



月	単元名	教材名【領域】 ●学習目標	時	主な学習活動	評価規準	学習指導要領 の言語活動例
10	5 古典に学ぶ	和歌の世界 ——万葉集・古今和歌集・ 新古今和歌集 【読む(古文)】  コラム 和歌がつなぐ思い 3時間  ◎和歌の形式や表現の特徴 を捉え、その効果について 評価する。(Cウ) ○和歌が詠まれた背景を想 像しながら、情景や心情を 読み取る。(知・技(3)ア)	1	◆目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 和歌が詠まれた背景を想像しながら、情景 や心情を読み取る。 →■二次元コード■ ・和歌のリズムと意味の切れめに注意して、 音読する。 ・和歌が詠まれた背景を想像しながら、情景 や心情を捉える。 2 2 和歌の形式や表現の特徴を捉える。 ・「万葉集」「古今和歌集」「新古今和歌集」の 歌を比較する。 ・それぞれの表現の特徴について、捉えたこ とを交流する。 3 3 和歌の表現の効果について理解し、鑑賞文 にまとめる。 ・好きな和歌を選ぶ。 ・読み取ったことに自分の感想を加えて、鑑 賞文にまとめる。 ◆目標をもう一度確認し、学んだことを自分の 言葉でまとめる。 →■二次元コード■ 参考資料/デジタル漢字 ドリル	知・技 ・歴史的背景などに注意して古典 を読むことを通して、その世界に 親しんでいる。((3)ア) 思・判・表 ①「読むこと」において、文章の 構成や表現の仕方について評 価している。(Cウ) 主 ・進んで表現の仕方について評 価し、学習課題にそって考えを 伝え合おうとしている。	詩歌を読み、 批評したり、 考えたことな どを伝え合っ たりする。(C イ)
		おくのほそ道 【読む(古文)】  読み方を学ぼう ⑤ 状況・背景 4時間  ◎現代と比較するなどして、 文章に表れている作者の ものの見方や考え方を捉 える。(Cイ) ○歴史的背景などに注意し て古文を読み、古典の世 界に親しむ。(知・技(3) ア)	1	◆目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 表現やリズムを意識して、古文を音読する。 →■二次元コード■ ・本文を音読する。 ・対句的な表現がもつリズムを味わう。 2-3 2 歴史的背景などに注意して、作者のもの の見方や考え方を捉える。 ・冒頭部分を読み、芭蕉の旅に対する思いを まとめる。 →思考の方法[比較する] ・「平泉」での芭蕉の思いを想像する。 4 3 優れた表現や文体の特徴に着目しながら、 作品を読み深める。 ・それぞれの句にこめられた作者の心情やも のの見方について考える。 →読み方を学ぼう⑤ 状況・背景 ■二次元コード■ ・考えたことを交流する。 ◆目標をもう一度確認し、学んだことを自分の 言葉でまとめる。 (学びを広げる) ・次のどちらかの課題に取り組む。 A「おくのほそ道」全体から一句選び、表現の 工夫などに着目して紹介し合う。 →■二次元コード■ B松尾芭蕉が自分の住んでいる町にやっ てきたとしたらどのような句を詠むか、想像し て俳句を作る。 →■二次元コード■ デジタル漢字ドリル	知・技 ・歴史的背景などに注意して古典 を読むことを通して、その世界に 親しんでいる。((3)ア) 思・判・表 ・「読むこと」において、文章を批 判的に読みながら、文章に表れ ているものの見方や考え方につ いて考えている。(Cイ) 主 ・進んでものの見方や考え方につ いて考え、学習課題にそって考 えたことを伝え合おうとしている。	詩歌や小説 などを読み、 批評したり、 考えたことな どを伝え合っ たりする。(C イ)

月	単元名	教材名【領域】 ●学習目標	時	主な学習活動	評価規準	学習指導要領 の言語活動例
		<b>言葉発見 3</b> <b>言葉の現在・過去・未来</b> 1時間 ◎時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いについて理解する。(知・技(3)ウ)	1	◆目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 時間の経過によって言葉が変化することを理解する。 2 「確かめよう」の課題に取り組む。 ◆目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	<b>知・技</b> ・ <u>時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いについて理解している。(3)ウ</u> <b>主</b> ・進んで時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いについて理解し、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	-
		<b>論語</b> <b>【読む(漢文)】</b> <b>漢文の読み方</b> <b>訓読の仕方の確認</b> 2時間 ◎「論語」の言葉をきっかけにして、生き方や学び方について自分の考えをもつ。(知・技(3)ア・Cエ) ○孔子のものの見方や考え方が表れている一節を引用し使う。(知・技(3)イ)	1	◆目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 漢文の響きやリズムに注意しながら読み、孔子のものの見方や考え方を捉える。 → <b>二次元コード</b> ・漢文特有のリズムに注意して、音読する。 ・訓読の仕方について確認する。 ・述べられている内容を自分の言葉で捉え直す。	<b>知・技</b> ①歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しんでいる。(3)ア) ②長く親しまれている言葉や古典の一節を引用するなどして使っている。(3)イ) <b>思・判・表</b> ・ <u>「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。(Cエ)</u> <b>主</b> ・進んで人間や社会などについて自分の意見を持ち、学習課題にそって文章にまとめようとしている。	文章を比較するなどして読み、理解したことや考えたことについて文章にまとめる。(Cア)
		<b>漢字一字</b> <b>自分自身や社会を見つめる</b> <b>【書く】</b> 4時間 ◎日常生活や社会生活の中から題材を決めて、自分の考えを文章にまとめる。(Bア) ○文章を読み合って、お互いの表現のよい点を見つける。(Bオ)	1-3	◆目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 日常生活や社会生活の中から題材を決めて、自分の考えを文章にまとめる。 ・これまでの自分自身を振り返って、何について表現するか決める。 ・漢和辞典や国語辞典を参考にして、題材にふさわしい漢字一字を決める。 ・決めた理由や、その漢字にまつわるエピソードを文章にまとめる。	<b>知・技</b> ・理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、慣用句や四字熟語などについて理解を深め、話や文章の中で使うとともに、和語、漢語、外来語などを使い分けることを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)イ) <b>思・判・表</b> ① <u>「書くこと」において、目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決めている。(Bア)</u> ②「書くこと」において、論理の展開などについて、読み手からの助言などをふまえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだしている。(Bオ) <b>主</b> ・粘り強く目的や意図に応じて題材を決め、学習の見通しをもって自分の考えを書こうとしている。	関心のある事柄について批評するなど、自分の考えを書く。(Bア)

月	単元名	教材名【領域】 ●学習目標	時	主な学習活動	評価規準	学習指導要領 の言語活動例
		<b>漢字を身につけよう⑤</b> 1 時間 ◎常用漢字の読み・書きについて理解を深める。(知・技(1)ア)	1	1 中学校で学習する漢字を読む。 2 中学校で新しく学習する読みを学ぶ。 →■二次元コード■	<b>知・技</b> <b>①</b> 第 2 学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れている。((1)ア) <b>②</b> 理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)イ) <b>主</b> ・進んで常用漢字について理解を深め、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	-

月	単元名	教材名【領域】 ●学習目標	時	主な学習活動	評価規準	学習指導要領 の言語活動例
11	6 情報を関係づける	マンガ 情報の扱い方 【読む(情報)】 1時間 見たいものだけ見る私たち 【読む(論説)】 2時間 情報の信頼性を確かめる 【話す・聞く】 【読む(実用文・図表)】 話す・聞く…2時間 読む…2時間 ◎情報の信頼性の確かめ方を理解し、文章を読んで考えを広げ、自分の意見をもつ。(知・技(2)イ、Cイ・Cエ) ◎互いの発言を生かして話し合い、自分の考えを深める。(Aオ)	1 2-3 4-5 6-7	◆目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 情報の信頼性の確かめ方について理解する。 ・マンガ「そのロコミ信頼できる？」を読んで、情報の信頼性の確かめ方について理解する。 ・情報の信頼性を確かめるうえで注意すべきことについて話し合う。 2 資料A「見たいものだけ見る私たち」を読み、筆者の意見を捉える。 ・文章で取り上げられている「認知バイアス」についてまとめる。 ・インターネット上の真偽不明の情報を信じてしまう理由を捉える。 ・真偽不明の情報にふれたとき、どうすればよいか話し合う。 3 情報の信頼性の確かめ方について理解したことを使う。 ・前時までの学習で理解したことを整理する。 ・ <u>1</u> の課題について考え、話し合う。 ・ <u>2</u> の課題について考え、話し合う。 4 話し合いを通して、情報の信頼性の確かめ方について考えを深める。 ・ <u>3</u> の課題について考え、話し合う。 ・ <u>4</u> の課題について考え、話し合う。 ・情報の信頼性の確かめ方について考えたことを発表する。 →■二次元コード■ ◆目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	知・技 ①情報の信頼性の確かめ方を理解し使っている。((2)イ) ②具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。((2)ア) 思・判・表 ①「話すこと・聞くこと」において、 <u>進行の仕方を工夫したり互いの発言を生かしたりしながら話し合い、合意形成に向けて考えを広げたり深めたりしている。(Aオ)</u> ②「読むこと」において、 <u>文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。(Cイ)</u> ③「読むこと」において、 <u>文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。(Cエ)</u> ④「読むこと」において、 <u>文章の種類をふまえて、論理の展開の仕方などを捉えている。(Cア)</u> 主 ・進んで情報の信頼性の確かめ方を理解しながら、内容を解釈し、学習課題にそって議論や討論をしようとしている。	互いの考えを生かしながら議論や討論をする。(Aイ) 論説や報道などの文章を比較するなどして読み、理解したことや考えたことについて討論する。(Cア) 実用的な文章を読み、実生活への生かし方を考える。(Cウ)
		言葉発見4 慣用句・ことわざ・故事成語 1時間 ◎慣用句・ことわざ・故事成語について理解を深める。(知・技(1)イ)	1	◆目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 慣用句の意味と用法を理解する。 2 ことわざ・故事成語について意味や由来を理解する。 3 ことわざ・故事成語の表現効果を理解し、語感を磨く。 →資料編「語彙の広がり」 4 「確かめよう」の課題に取り組む。 5 日本語と英語の慣用表現の類似点・相違点について理解を深める。 ◆目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	知・技 ・ <u>理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、慣用句などについて理解を深め、話や文章の中で使っている。((1)イ)</u> 主 ・進んで慣用句などについて理解を深め、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	-

月	単元名	教材名【領域】 ●学習目標	時	主な学習活動	評価規準	学習指導要領 の言語活動例
		漢字を身につけよう⑥ 1 時間  ◎常用漢字の読み・書きについて理解を深める。(知・技(1)ア)	1	1 中学校で学習する漢字を読む。 2 中学校で新しく学習する読みを学ぶ。 →■二次元コード■	知・技 ①第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れている。((1)ア) ②理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。 (1)イ 主 ・進んで常用漢字について理解を深め、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	-
12	7 読みを深め合う	初恋 【読む(詩)】  コラム 文語定型詩と口語自由詩 2 時間  ◎表現の特徴とその効果を捉え、作品を味わう。(Cウ) ○詩の形式をふまえて音読し、描かれている思いを捉える。(Cア)	1	◆目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 詩の形式をふまえて音読し、描かれている思いを捉える。 ・文語定型詩の特徴とリズムに注意して音読する。 ・文語定型詩の特徴を確認する。 ・「われ」の「君」に対する思いを連ごとに捉える。 2 2 表現の特徴とその効果を捉え、作品を味わう。 ・「おのづからなる細道」はどのようなことを表しているか考える。 ・表現の効果について考えたことを書く。 ◆目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。 →■二次元コード■ 参考資料	知・技 ・時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いについて理解している。((3)ウ) 思・判・表 ①「読むこと」において、文章の構成や表現の仕方について評価している。(Cウ) ②「読むこと」において、文章の種類をふまえて、物語の展開の仕方などを捉えている。(Cア) 主 ・進んで表現の仕方について評価し、学習課題にそって考えを伝え合おうとしている。	詩歌を読み、考えたことなどを伝え合う。(Cイ)
		漢字のしくみ 四字熟語 1 時間  ◎四字熟語について理解を深める。(知・技(1)イ)	1	◆目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 四字熟語の特徴を確認する。 2 四字熟語の組み立て方の種類について理解する。 3 「確かめよう」の課題に取り組む。 ◆目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。 →■二次元コード■ デジタル漢字ドリル	知・技 ①理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、四字熟語などについて理解を深め、話や文章の中で使っている。 (1)イ ②第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読んでいる。((1)ア) 主 ・進んで四字熟語について理解を深め、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	-

月	単元名	教材名【領域】 ●学習目標	時	主な学習活動	評価規準	学習指導要領 の言語活動例
		<b>故郷</b> <b>【読む(小説)】</b> <b>読み方を学ぼう⑥</b> <b>反復</b> 5時間 ◎ 作品に表れているものの見方や考え方について考える。(Cイ) ◎ 作品から読み取ったものの見方や考え方をもとに、人間関係や社会との関わり方について自分の意見をもつ。(Cエ)	1-2	◆ 目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 人物の心情と描写との関連や人物設定を捉える。 ・本文を通読し、内容を捉える。 ・過去と現在に場面を分け、場面ごとに人物の描かれ方をまとめる。 ・過去と現在で、「私」の感じ方がどのように変化したかを捉える。 3 2 登場人物の言動や関係を捉える。 ・場面ごとに登場人物の関係の変化をまとめる。 ・「悲しむべき厚い壁」とは何か、考える。 → <b>思考の方法[比較する]</b> 4 3 表現の特徴や工夫を捉え、評価する。 ・登場人物が果たす役割を考える。 ・表現の特徴やその効果について考え、話し合う。 → <b>読み方を学ぼう⑥ 反復</b> ■二次元コード■ 5 4 作品に表れているものの見方や考え方について、自分の考えをつくる。 ・「自分の道」「希望」とはどういうことか、考える。 ・作品を読んで考えたことを文章にまとめ、交流する。 ◆ 目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。 → ■二次元コード■ 参考資料/デジタル漢字ドリル	<b>知・技</b> ・具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。(2ア) <b>思・判・表</b> ①「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。(Cイ) ②「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。(Cエ) <b>主</b> ・進んで文章を批判的に読み、考えを広げたり深めたりし、学習課題にそって批評しようとしている。	小説を読み、批評したり、考えたことなどを伝え合ったりする。(Cイ)
		<b>読書活動</b> <b>ブックトーク</b> <b>【話す・聞く】</b> 2時間 ◎ 自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解する。(知・技(3)オ) ◎ 自分の考えを明確にし、論理の展開などを考えて、話の構成を工夫する。(Aイ)	1	◆ 目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 話の構成を工夫してシナリオを考える。 ・ブックトークのテーマを決める。 ・これまでに読んだ本や学校図書館にある本から紹介する本を選ぶ。 → 資料編 読書の広場「小さな図書館」 → ■二次元コード■ ・導入の言葉や本のどの部分を紹介するかなど、話の構成を工夫して発表のシナリオを考える。 2 2 ブックトークをする。 ・シナリオをもとにして、練習をする。 ・グループを作り、一人ずつブックトークをする。 ・グループごとに、ブックトークを振り返り感想を交流する。 ◆ 目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	<b>知・技</b> ・自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。(3)オ) <b>思・判・表</b> ①「話すこと・聞くこと」において、自分の立場や考えを明確にし、相手を説得できるように論理の展開などを考えて、話の構成を工夫している。(Aイ) ②「話すこと・聞くこと」において、場の状況に応じて言葉を選ぶなど、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫している。(Aウ) <b>主</b> ・積極的に話の構成を工夫し、学習の見通しをもって提案しようとしている。	提案や主張など自分の考えを話したり、それらを聞いて質問したり評価などを述べたりする。(Aア)

月	単元名	教材名【領域】 ●学習目標	時	主な学習活動	評価規準	学習指導要領 の言語活動例
		漢字を身につけよう⑦ 1 時間  ◎常用漢字の読み・書きについて理解を深める。(知・技(1)ア)	1	1 中学校で学習する漢字を読む。 2 中学校で新しく学習する読みを学ぶ。 →■二次元コード■	知・技 ①第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れている。((1)ア) ②理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。 (1)イ 主 ・進んで常用漢字について理解を深め、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	-
1	8 振り返って見つめる	私とは何か 【読む(論説)】 2 時間  ◎文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間や社会について自分の意見をもつ。(Cエ) ○文章を批判的に読みながら、筆者が述べる「分人」という考え方について考える。(Cイ)	1	◆目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 「分人」という考え方を捉える。 ・本文を通読し、内容を捉える。 ・「分人」という考え方、「本当の自分」「ウソの自分」という考え方について整理する。 ・「教室の中の孤独」の節について、問いの形の見出しを考える。 ・考えた理由とあわせて話し合う。 2 2 筆者の主張について、自分の意見を持ち、考えを交流する。 ・「私たちはキャラを演じ分けているのか」の節の効果を考える。 ・筆者の主張について、立場をはっきりさせて自分の意見をまとめる。 ・考えたことを交流する。 ◆目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。 →■二次元コード■ 解説動画／デジタル漢字ドリル	知・技 ・具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。(2)ア) 思・判・表 ①「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。(Cエ) ②文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。(Cイ) 主 ・進んで考えを広げたり深めたりして自分の意見を持ち、学習課題にそって考えたことを文章にまとめようとしている。	論説や報道などの文章を比較するなどして読み、理解したことや考えたことについて文章にまとめる。(Cア)

月	単元名	教材名【領域】 ●学習目標	時	主な学習活動	評価規準	学習指導要領 の言語活動例
		<b>坊っちゃん</b> <b>【読む(小説)】</b>  <b>夏目漱石の世界</b> 3時間  ◎これまでに出会った人との <b>関わり方</b> について考えを深 める。(Cエ) ○言葉の使われ方や人物の 描かれ方に注意して読み、 作品の特徴を評価する。 (Cウ)	1	◆目標を確認し、学習の見通しをもつ。 1 言葉の使われ方や人物の描かれ方に注意 して読む。 ・本文を通読し、内容を捉える。 ・「坊っちゃん」はどのような人物か、説明す る。 → <b>思考の方法[抽象化する]</b> ・周りの人たちと「清」は、「坊っちゃん」をど のように見ているか、まとめる。 2 身近な人との関わり方について考えを深め る。 ・「坊っちゃん」に対する見方が「清」とその他 の人とで異なっているのはなぜか、考える。 ・最後の場面から感じたことや考えたことを交 流する。 3 作品の特徴を評価する。 ・気に入った場面を音読し、作品の特徴につ いて考えたことを発表し合う。 ◆目標をもう一度確認し、学んだことを自分の 言葉でまとめる。 → <b>■二次元コード■</b> 参考資料/デジタル漢字 ドリル	<b>知・技</b> ・理解したり表現したりするために 必要な語句の量を増し、語感を 磨き語彙を豊かにしている。 (1)イ <b>思・判・表</b> ①「読むこと」において、 <u>文章を讀  んで考えを広げたり深めたりし  て、人間、社会、自然などにつ  いて、自分の意見をもっている。</u> (Cエ) ②「読むこと」において、文章の構 成や論理の展開、表現の仕方 について評価している。(Cウ) <b>主</b> ・進んで人間や社会などにつ いて考え、学習課題にそって批評 しようとしている。	小説を読み、 批評したり、 考えたことな どを伝え合っ たりする。(C イ)
		<b>漢字を身につけよう⑧</b> 1時間  ◎常用漢字の読み・書きにつ いて理解を深める。(知・技 (1)ア)	1	1 中学校で学習する漢字を読む。 2 中学校で新しく学習する読みを学ぶ。 → <b>■二次元コード■</b>	<b>知・技</b> ① <u>第2学年までに学習した常用  漢字に加え、その他の常用漢  字の大体を讀んでいる。また、  学年別漢字配当表に示されて  いる漢字について、文や文章の  中で使い慣れている。</u> ((1)ア) ②理解したり表現したりするた めに必要な語句の量を増し、語感 を磨き語彙を豊かにしている。 (1)イ <b>主</b> ・進んで常用漢字について理解 を深め、学習したことを生かして 課題に取り組もうとしている。	-

月	単元名	教材名【領域】 ●学習目標	時	主な学習活動	評価規準	学習指導要領 の言語活動例
2		<b>名言集</b> <b>中学校生活を振り返って</b> <b>【話す・聞く】</b> 2時間 <b>【書く】</b> 5時間  ◎話し合いの仕方を工夫して集めた材料を整理し、考えを広げたり深めたりする。(Aア) ◎表現の仕方を考え、自分の考えがわかりやすく伝わるように工夫する。(Bウ)	1-3 4-5 6-7	◆目標と学習の流れを確認し、学習の見通しをもつ。 1 編集方針を立て、言葉を集める。 ・名言集のテーマ、集め方、構成、デザインなどを編集会議で検討する。 ・教科書や今まで読んだ本、今までに聞いた先生や友達の話の中から、言葉を書き出す。 ・出典や誰の言葉なのかをメモする。 ・その言葉との出会い、気に入っているところ、誰に届けたいかもメモする。 2 言葉を選び、構成を決める。 ・書き出した言葉を取捨選択し、構成やデザインを決める。 ・編集会議を開き、アイデアを交換したり、アドバイスし合ったりする。 3 推敲して清書し、交流する。 ・誤字脱字がないか、原典と合っているかを丁寧に点検し、清書する。 →資料編「原稿用紙の使い方・推敲の仕方」 ・教室に掲示したり、発表会を開いたりして楽しむ。 ◆目標をもう一度確認し、学んだことを自分の言葉でまとめる。	<b>知・技</b> ・具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。(2)ア) <b>思・判・表</b> ①「話すこと・聞くこと」において、 <u>多様な考えを想定しながら材料を整理し、伝え合う内容を検討している。(Aア)</u> ②「書くこと」において、 <u>表現の仕方を考えたり資料を適切に引用したりするなど、自分の考えがわかりやすく伝わる文章になるように工夫している。(Bウ)</u> <b>主</b> ・積極的に伝え合う内容を検討し、粘り強く表現の仕方を考え、学習の見通しをもって名言集を作ろうとしている。	互いの考えを生かしながら議論や討論をする。(Aイ)  情報を編集して文章にまとめるなど、伝えたいことを整理して書く。(Bイ)
		<b>歌の言葉</b> <b>群青</b>	-	-	-	-